

第84回国民スポーツ大会
第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会

第12回 総務企画専門委員会



令和8年6月11日（木）

島根県庁黒田庁舎2階会議室



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会
第12回総務企画専門委員会 次第

日時：令和8年6月11日(木)13:30～15:00

場所：島根県庁黒田庁舎 2階会議室

(松江市黒田町488-2)

1 開 会

2 報 告

- (1) これまでの大会準備経過 P 3
- (2) 第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会決定・報告事項 P 7
- (3) 第84回国民スポーツ大会 正式競技開催予定施設の名称変更について P 9

3 議 事

- (1) 第84回国民スポーツ大会 会期 (案) P15
- (2) 第84回国民スポーツ大会 競技施設基準暫定版の改正 (案) P21
- (3) 第84回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第2次】(案) P75

4 閉 会

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会 総務企画専門委員会 委員

(敬称略)

No.	分野	所属	役職	氏名	備考
1	学識 経験者	松江工業高等専門学校	教授	森田 正利	委員長
2	市町村	島根県市長会	常務理事	森本 敬史	
3		島根県町村会	常務理事	西村 秀樹	
4	スポーツ	公益財団法人 島根県スポーツ協会	専務理事	竹内 俊勝	
5		公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会	常務理事	長岡 秀樹	(代理)事務局長 石出高士
6		島根県スポーツ推進委員協議会	会長	久家 彰	
7	教育	島根県中学校体育連盟	理事長	柏木 裕至	
8		島根県高等学校体育連盟	理事長	細木 竜次	
9	経済	島根県商工会議所連合会	事務局長	森岡 淳	欠席
10		島根県商工会連合会	事務局長	門脇 里依子	欠席
11	島根県	地域振興部市町村課	課長	(新)北尾 真吾 (旧)新田 晃久	(代理)課長補佐 三代 真之
12		健康福祉部障がい福祉課	課長	(新)来原 雅人 (旧)岩崎 靖	
13		土木部都市計画課	課長	(新)荒木 俊輔 (旧)遠藤 徹	(代理)課長補佐 桑谷 昭年
14		島根かみあり国スポ・全スポ局 スポーツ振興課	課長	松本 守正	副委員長
15		教育庁保健体育課	課長	(新)米原 陽介 (旧)太田 俊介	

1 報 告

各委員会の会議資料については、以下県のHP配下に PDF ファイルをアップしています。

【島根県 HP】

くらし > 文化・スポーツ > スポーツ > 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 > 準備委員会

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo_dai29kaisyouspo/junbiinkai/

(右記 QR コードも同様のページへ遷移します。)



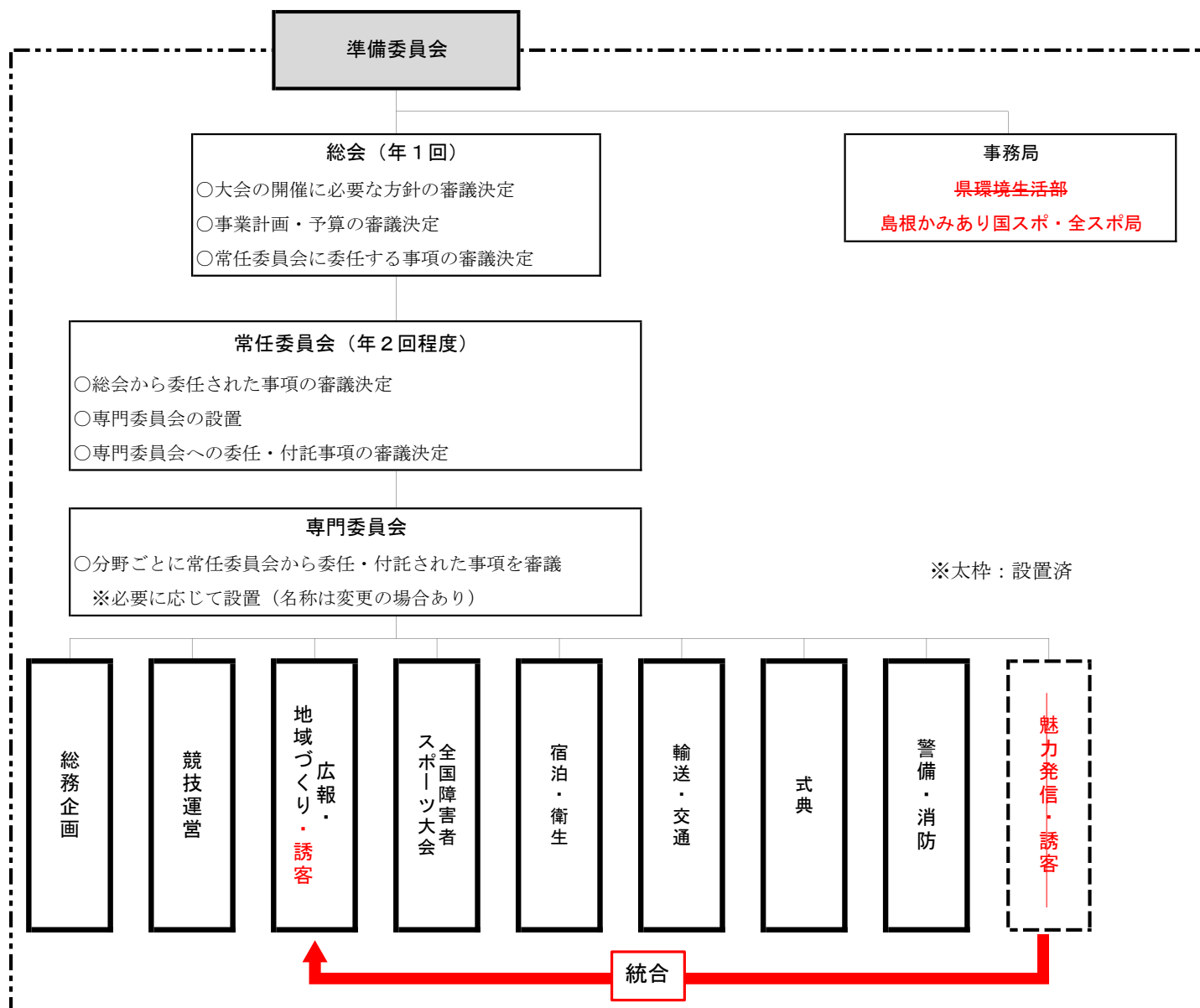
これまでの大会準備経過

年 月 日	内 容
平成30年 9月3日	(公財) 島根県体育協会が理事会・臨時評議員会で、第84回(2029年)国民体育大会招致を決議
9月10日	(公財) 島根県体育協会が、第84回(2029年)国民体育大会招致に関する要望書を、(公財) 島根県障害者スポーツ協会が第29回(2029年)全国障害者スポーツ大会招致要望書を、それぞれ県、県議会、県教育委員会に提出
9月26日	県議会が「第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
10月25日	知事が県議会全員協議会において、両大会を2029年に招致することを表明
11月7日 11月8日	県、(公財) 島根県体育協会、県教育委員会が連名で、開催要望書を(公財) 日本スポーツ協会と文部科学省に提出
12月13日	(公財) 日本スポーツ協会国体委員会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が了承
平成31年 1月16日	(公財) 日本スポーツ協会理事会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が内々定
令和元年 10月1日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会を設置、3回にわたり会議を開催
令和2年 6月3日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会の提言書を岸本強座長より知事に提出
9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県の4者が鹿児島国体及び鹿児島大会を令和5年に開催することを決定し、これにより本県で開催予定の第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を令和12年に1年延期することが決定
10月2日	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会を開催
令和3年 3月22日	準備委員会第1回常任委員会を開催
7月29日	準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
9月7日	準備委員会第1回広報・機運醸成専門委員会を開催

年 月 日	内 容
令和3年 10月7日	準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
10月12日	準備委員会第2回常任委員会を開催
令和4年 2月16日	準備委員会愛称・スローガン選定部会を開催
3月7日	準備委員会第2回広報・機運醸成専門委員会を開催
3月11日	準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
3月11日	準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
3月16日	準備委員会第2回総会を開催
10月20日	準備委員会第3回広報・機運醸成専門委員会を開催
12月7日	準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月16日	準備委員会第3回総会を開催
令和5年 1月17日	準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
2月17日	準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
3月9日	準備委員会第3回常任委員会を開催（書面開催）
7月11日	準備委員会第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
7月14日	準備委員会第4回総会を開催（書面開催）
7月27日	準備委員会第1回広報・地域づくり専門委員会を開催
9月4日	準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
令和6年 2月6日	準備委員会第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
2月9日	準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催（書面開催）
3月6日	準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
3月14日	準備委員会第4回常任委員会を開催
5月30日	準備委員会第2回広報・地域づくり専門委員会を開催
6月25日	準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催
7月3日	準備委員会第5回総会を開催

年 月 日	内 容
令和 7 年	10月17日 準備委員会第 1 回宿泊・衛生専門委員会を開催
	12月17日 準備委員会第 4 回競技運営専門委員会を開催
	12月20日 準備委員会第 1 回輸送・交通専門委員会を開催
	1月29日 準備委員会第 3 回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	2月3日 準備委員会第 3 回広報・地域づくり専門委員会を開催
	2月6日 準備委員会第 1 回式典専門委員会を開催
	2月13日 準備委員会第 9 回総務企画専門委員会を開催
	3月13日 準備委員会第 5 回常任委員会を開催
	3月17日 準備委員会第 4 回広報・地域づくり専門委員会を開催（書面開催）
	6月2日 県、（公財）島根県スポーツ協会、県教育委員会が連名で、開催申請書を（公財）日本スポーツ協会と文部科学省に提出
	6月30日 準備委員会第 5 回広報・地域づくり専門委員会を開催
	7月7日 準備委員会第 1 0 回総務企画専門委員会を開催
	7月16日 （公財）日本スポーツ協会理事会において、第84回（2030年）国民スポーツ大会の島根県開催が内定（国スポ内定に伴い第29回全国障害者スポーツ大会の島根県開催が併せて内定）
	7月29日 準備委員会第 6 回総会を開催
令和 8 年	12月17日 準備委員会第 2 回宿泊・衛生専門委員会を開催
	12月18日 準備委員会第 2 回輸送・交通専門委員会を開催
	1月23日 準備委員会第 5 回競技運営専門委員会を開催
	1月29日 準備委員会第 2 回式典専門委員会を開催
	2月3日 準備委員会第 1 回警備・消防専門委員会を開催
	2月4日 準備委員会第 6 回広報・地域づくり専門委員会を開催（書面開催）
	2月5日 準備委員会第 4 回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
	2月13日 準備委員会第 1 1 回総務企画専門委員会を開催
	3月12日 準備委員会第 6 回常任委員会を開催
	6月4日 準備委員会第 1 回広報・地域づくり・誘客専門委員会を開催

第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会 島根県準備委員会 組織図



総 会	大会開催に係る根幹的事項の審議・決定を行う最高機関 開催基本方針、会則の制定、事業計画、予算・決算、常任委員会への委任事項等
常 任 委 員 会	実質的な施策の審議・決定を行う機関 総会から委任された事項（開催基本計画、会場地市町村・実施予定競技の選定等）の審議決定
専 門 委 員 会	専門的な施策の審議・調査を行う機関（必要に応じて設置） ・総務企画 総合計画、会場地市町村の選定、施設整備方針、施設基準、募金・企業協賛等 ・競技運営 実施競技選択方針、運営計画、競技役員養成、用具の整備等 ・広報・地域づくり・誘客 広報基本方針、名称、シンボルマーク、マスコット等の制定、県民運動参加基本方針、地域連携の推進等、県外からの誘客につなげる歴史・自然・文化など地域資源の整理等 ・全国障害者スポーツ大会 大会の開催準備 ・宿泊・衛生 宿舎・配宿、食事・弁当、医療救護対策、防疫、食品・環境等 ・輸送・交通 全国輸送、総合開会式の輸送、競技会場地等の輸送計画等 ・式典 開・閉会式、式典演技、式典音楽の計画等 ・警備・消防 開・閉会式、競技会場の警備、消防防災対策 ・魅力発信・誘客 県外からの誘客につなげる歴史・自然・文化など地域資源の整理等

第 8 4 回国民スポーツ大会・第 2 9 回全国障害者スポーツ大会

島根県準備委員会決定・報告事項

○第 6 回常任委員会（令和 8 年 3 月 12 日）

- ・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
文化プログラム実施基本方針 (別冊) P 1
- ・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会専門委員会規程の一部改正 (別冊) P 2
- ・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
開催準備総合計画改正 (別冊) P 5
- ・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
式典基本構想
- ・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会
警備・消防防災基本方針
- ・第84回国民スポーツ大会 記録業務基本計画
- ・第84回国民スポーツ大会 デモンストラションスポーツ
会場地市町村第 2 次選定 (別冊) P 6

各委員会の会議資料については、以下県のHP配下に PDF ファイルをアップしています。

【島根県 HP】

くらし > 文化・スポーツ > スポーツ > 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 > 準備委員会

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo_dai29kaisyouspo/junbiinkai/

(右記 QR コードも同様のページへ遷移します。)



第84回国民スポーツ大会 正式競技開催予定施設の名称変更

競技・種目名			種別	市町村名	開催予定施設
1	ローイング	変更前	全種別	雲南市 奥出雲町	島根県さくらおろち湖ボート競技施設
		変更後	全種別	雲南市 奥出雲町	島根県さくらおろち湖ローイング競技施設

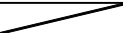
第84回国民スポーツ大会 会場地市町村（選定状況）

○正式競技、特別競技

【競技別】

R8.6月現在

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設(想定)	選定
1	陸上競技		全種別	出雲市	島根県立浜山公園陸上競技場	第1次
2	水泳	競泳	全種別	松江市	島根県立水泳プール	第1次
		飛込	全種別			
		アーティスティックスイミング*	少年女子	江津市	江津中央公園江津市民プール	第3次
		水球	少年男子・女子	益田市	高津川河口特設会場	第1次
3	サッカー		成年女子 少年男子 少年女子	浜田市	浜田市陸上競技場	第1次
					サン・ビレッジ浜田スポーツ広場	
					浜田市三隅中央公園陸上競技場	
				益田市	島根県立サッカー場	
					益田運動公園益田陸上競技場	
4	テニス		成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	安来市	安来運動公園庭球場	第2次
				松江市	松江市営庭球場	
				吉賀町	吉賀町真田グラウンド	
5	ローイング		全種別	雲南市 奥出雲町	島根県さくらおろち湖ローイング競技施設	第4次
6	ホッケー		全種別	奥出雲町	三成公園ホッケー場	第1次
					島根県立横田高校ホッケー場	
7	ボクシング		成年男子 成年女子 少年男子	松江市	くにびきメッセ	第4次
8	バレーボール	6人制	成年男子	安来市	安来市民体育館	第2次
			成年女子	松江市	鹿島総合体育館	
			少年男子 少年女子		松江市総合体育館	
		ビーチ	少年男子 少年女子	浜田市	島根県立石見海浜公園	
9	体操	競技	全種別	浜田市	島根県立体育館	第1次
		新体操	少年男子 少年女子	松江市	松江市総合体育館	第1次
		トランポリン	男子・女子	浜田市	島根県立体育館	第2次
10	バスケットボール		全種別	松江市	松江市総合体育館	第1次
					鹿島総合体育館	
11	レスリング		成年男子 少年男子 女子	雲南市	三刀屋文化体育館(アスパル)	第2次
12	セーリング		全種別	鳥取県境港市	境港公共マリーナ	第4次
13	ウエイトリフティング		成年男子 少年男子 女子	出雲市	島根県立出雲農林高校体育館	第1次
14	ハンドボール		全種別	松江市	松江市総合体育館	第2次
				島根県立松江商業高校体育館	島根県立松江商業高校体育館	
15	自転車	トラック・レース	男子A 男子B 女子	出雲市	島根県自転車競技場(仮称)	第3次
		ロード・レース		益田市	益田市自転車ロードレース特設会場	第1次
16	ソフトテニス		全種別	松江市	松江市営庭球場	第2次
17	卓球		全種別	松江市	鹿島総合体育館	第3次
18	軟式野球		成年男子	浜田市	浜田市野球場	第4次
					浜田市三隅中央公園市民野球場	
				益田市	益田市民球場	
				川本町	川本町民球場	
				邑南町	いわみスタジアム	
					瑞穂球場	

No.	競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設(想定)	選定
19	相撲		成年男子 少年男子	隠岐の島町	隠岐の島町総合体育館	第4次
20	フェンシング		全種別	安来市	安来市民体育館	第1次
21	柔道		成年男子 少年男子 女子	出雲市	島根県立浜山体育館(カミアリーナ)	第2次
22	ソフトボール		全種別	出雲市	愛宕山野球場	第2次
					斐川公園野球場	
					出雲健康公園出雲ドーム	
					湖陵総合公園野球場	
				雲南市	大東公園野球場	
				加茂中央公園野球場、多目的広場		
			飯南町	頓原町民野球場		
23	バドミントン		全種別	松江市	鹿島総合体育館	第2次
24	弓道		全種別	大田市	島根県立大田高校弓道場、グラウンド	第2次
25	ライフル射撃	CP (センター・ファイア・ピストル)	成年男子	松江市	島根県警察学校射撃場	第2次
		BR(ビーム・ライフル) BP(ビーム・ピストル)	少年男子 少年女子		八雲構造改善センター	
			50m 10m:AR(エア・ライフル) AP(エア・ピストル)	全種別	松江市	島根県ライフル射撃場
26	剣道		全種別	出雲市	出雲だんだんとまとアリーナ(出雲市総合体育館)	第1次
27	ラグビーフットボール	15人制	少年男子	江津市	江津中央公園多目的広場	第4次
		7人制	成年男子・女子	(浜田市)	浜田市陸上競技場	
28	スポーツクライミング		全種別	津和野町	日原特定公園 (日原カントリーパーク)	第2次
29	カヌー	スプリント	全種別	美郷町	カヌーパークみさと カヌーレIMAI	第1次
		スラローム	成年男子		江の川特設コース	
		ワイルドウォーター	成年女子			
30	アーチェリー		全種別	出雲市	グリーンステップ特設会場	第4次
31	空手道		全種別	大田市	大田総合体育館	第2次
32	銃剣道		成年男子 少年男子	大田市	大田総合体育館	第4次
33	クレー射撃		成年	岡山県岡山市	岡山県クレー射撃場	第4次
34	なぎなた		成年女子 少年女子	出雲市	出雲だんだんとまとアリーナ(出雲市総合体育館)	第4次
35	ボウリング		全種別	広島県東広島市	賀茂ボール	第4次
36	ゴルフ		成年男子	浜田市	金城カントリークラブ	第2次
			女子	出雲市	いづも大社カントリークラブ	
			少年男子		島根ゴルフ倶楽部	第2次
37	トライアスロン		成年男子 成年女子	海士町 西ノ島町 知夫村	西ノ島町内特設コース	第4次
38	高等学校野球	硬式		出雲市	島根県立浜山公園野球場	第1次
		軟式		松江市	松江市営野球場	第2次
取消	馬術		成年男子 成年女子 少年	兵庫県三木市	三木ホースランドパーク	第3次

	競技数	種目数	市町村数
第1次選定(R3.3.22)	13	19	8
第2次選定(R3.10.12)	15	17	9(県外1含む)
第3次選定(R4.3.16)	4	4	4(県外1含む)
第3次選定一部取消	1	1	1(県外)
第4次選定(R4.12.16)	13	15	17(県外3含む)

※馬術(隔年競技実施順が決定したため)

(注1) 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

(注2) 複数種目からなる競技については、一部の種目における競技会場市町村が選定された場合でも1競技としてカウントしている。

(注3) 市町村数は、実数ではなく、各選定ごとに該当する数を記載している。

2 議 事

各委員会の会議資料については、以下県のHP配下に PDF ファイルをアップしています。

【島根県 HP】

くらし > 文化・スポーツ > スポーツ > 第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会 > 準備委員会

https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo_dai29kaisyouspo/junbiinkai/

(右記 QR コードも同様のページへ遷移します。)



第 84 回国民スポーツ大会会期（案）

第 84 回国民スポーツ大会会期（案）及び総合開会式日程（案）を次のとおりとする。

1 国民スポーツ大会会期（案）

令和 12 年 9 月 6 日（金）～ 10 月 10 日（木） 計 35 日間
--

2 総合開会式日程（案）

第 1 希望	令和 12 年 9 月 14 日（土）
第 2 希望	令和 12 年 9 月 21 日（土）
第 3 希望	令和 12 年 9 月 28 日（土）

第 84 回国民スポーツ大会会期（案）について

1 概要

第 84 回国民スポーツ大会の日程について、会期案を県準備委員会で策定し、日本スポーツ協会へ提出する。その後、宮内庁協議を経て、開催 3 年前の令和 9 年度に会期決定となる。

2 今後の予定

令和 8 年 6 月 11 日（木）	県準備委員会総務企画専門委員会で審議
7 月 2 日（木）	県準備委員会総会で報告
8 月	県から日本スポーツ協会へ会期（案）を提出
9 月～	日本スポーツ協会が宮内庁と協議
令和 9 年 7 月	国民スポーツ大会会期決定（日本スポーツ協会理事会）

3 大会会期（案）設定の考え方

（1）全体会期

- ・本県では、以下の事情により、宿泊・輸送、県及び市町村職員の動員等平準化が必要なことから、原則 11 日間以内（国民スポーツ大会開催基準要項）となっている会期を延長して策定する（会期延長については、日本スポーツ協会から内諾を得ている）。

①宿泊提供可能人数

②輸送（県外からのアクセス、輸送能力に限りがある）

③県及び市町村の職員体制（住民への行政サービスの影響）

④競技会場重複（開催可能な規模の競技会場が少なく特定の会場に競技が集中）

- ・宿泊繁忙期である神在月（令和 12 年 10 月 27 日（日）～）前に終わるようにする。
- ・出雲駅伝（令和 12 年 10 月 14 日（月）開催予定）と重複しないようにする。
- ・多くの県民が参加できるよう、会期中に土、日、祝日が多くなる日程とする。

（2）総合開会式

- ・皇室行事※と重複しないようにする。

※秋季皇霊祭（9/23）

- ・多くの県民が参加しやすいよう土曜日に開催する。

（参考）開会式日程別の終了種目数（全 51 種目）

① 9/14（土）：9 種目

② 9/21（土）：20 種目

③ 9/28（土）：31 種目

令和12年（2030年）日程表

日	曜日	
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	国スポ
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	総合開会式①
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	総合開会式②
22	日	
23	月	秋季皇霊祭
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	総合開会式③
29	日	
30	月	

国スポ 9月6日（金）～10月10日（木）

総合開会式① 9月14日（土）

総合開会式② 9月21日（土）

総合開会式③ 9月28日（土）

日	曜日	
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	総合閉会式
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	出雲駅伝
15	火	
16	水	
17	木	神嘗祭
18	金	
19	土	
20	日	上皇后陛下御誕生日
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	神在月
30	水	
31	木	

全スポ 10月19日（土）～10月28日（月）
（この期間の3日間で調整）

※全スポ会期案は令和9年度に提出予定

第84回国民スポーツ大会

競技施設基準 (案)



第84回国民スポーツ大会・
第29回全国障害者スポーツ大会
島 根 県 準 備 委 員 会

第84回国民スポーツ大会競技施設基準について

第84回国民スポーツ大会における競技施設面での準備を計画的かつ円滑に推進するため、競技施設に係る主な基準等を定めたものである。

- 1 この基準は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第2項（※）に規定する施設基準、各競技の競技規則及び先催県の例に基づき定めたものである。
- 2 この基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則による。
- 3 大会運営上、管理上必要な施設・面積等については、規則等に明確な定めのあるものを除き省略してあるものがあり、関連するスペース、施設の確保がさらに必要になる場合がある。
- 4 この基準は、県・開催市町村等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この基準に記載した内容については、今後、国民スポーツ大会開催基準要項・競技規則等の改訂に伴い、変更されることがある。

※ 国民スポーツ大会開催基準要項細則第2項（公益財団法人日本スポーツ協会）

大会の競技施設は既存施設の活用に努め、施設の新設・改修等に当たっては、大会開催後の地域スポーツ振興への有効的な活用を考慮し、必要最小限にとどめるものとする。

なお、本施設基準は、会場地市町村等が各競技場を整備する上での基準であり、開催県および市町村等において各中央競技団体との調整を行い弾力的に運用できるものとする。

《 競 技 施 設 基 準 の 見 方 》

○「基準」及び「摘要」欄

国民スポーツ大会開催基準要項細則に定められている事項を記載。

（注）「規定」とは、各競技団体が定める規定をいう。

○「基準の主な内容」欄

競技場に関し、各競技団体の競技規則等に定められているもので主な内容を記載。

〔 〕内は、各競技団体の定める競技規則等の名称等を記載。

○「配慮すべき事項」欄

各競技団体の競技規則等に定めはないが、運営上、競技会の安全な開催、先催県の例等から検討が必要と考えられる事項を記載。

○「先催県の事例」欄

先催県における、施設基準の弾力的な運用の事例を記載。

目 次

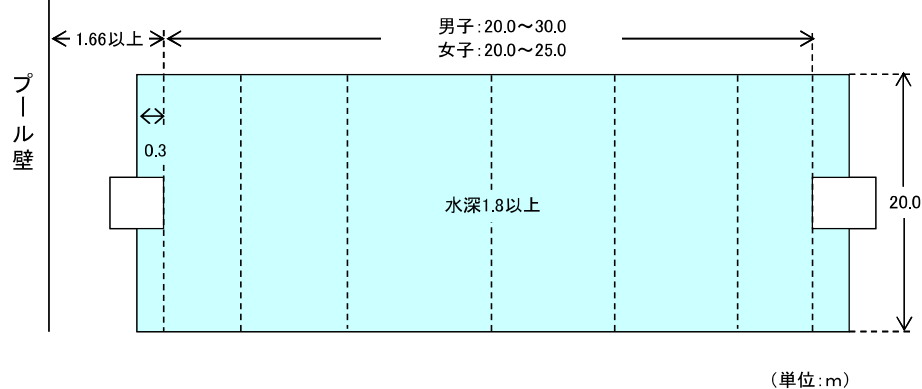
(競技番号)	(競 技 名)	(ページ)
1	陸 上 競 技	1
2	水 泳	2
3	サ ッ カ	4
4	テ ニ ス	5
5	ロ ー イ ン グ	6
6	ホ ッ ケ	7
7	ボ ク シ ン グ	8
8	バ レ ー ボ ー ル	9
9	体 操	11
10	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	12
11	レ ス リ ン グ	13
12	セ ー リ ン グ	14
13	ウエイトリフティング	15
14	ハ ン ド ボ ー ル	16
15	自 転 車	17
16	ソ フ ト テ ニ ス	18
17	卓 球	19
18	軟 式 野 球	20
19	相 撲	21
20	フ ェ ン シ ン グ	22
21	柔 道	23
22	ソ フ ト ボ ー ル	24
23	バ ド ミ ン ト	25
24	弓 道	26
25	ラ イ フ ル 射 撃	27
26	剣 道	29
27	ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル	30
28	ス ポ ー ツ ク ラ イ ミ ン グ	31
29	カ ヌ ー	33
30	ア ー チ エ リ ー	35
31	空 手 道	36
32	銃 剣 道	37
33	ク レ ー 射 撃	38
34	な ぎ な た	40
35	ボ ウ リ ン グ	41
36	ゴ ル フ	42
37	ト ラ イ ア ス ロ ン	43
38	高等学校野球（硬式、軟式）	44

競技名	陸上競技	競技番号	1
基準	日本陸上競技連盟公認の1種競技場 1	摘要	1周400mのサブトラック 1 投てき練習場 1
基準の主な内容			
【第1種公認陸上競技場】 ◆新設の場合(陸上競技場専用と多目的の共通) ・1周の距離 400m ・競走路 8レーンまたは9レーンとし、1レーンの幅は1m220とする。 走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは、18mm以上とする。 ・距離の公差 +1/10,000以内 ・障害物競走設備 水壕は、レーンの内側または外側に設置する。 ・各種跳躍場及び各種投てき場 仕様に示す数とする。 ハンマー投と円盤投のサークルは兼用型でもよいが、砲丸投のサークルと兼ねてはならない。 ・高齢者、身障者への配慮 車椅子席を設置する。また、その動線を確保する。 ・用器具庫 2カ所以上とし、合計面積は500㎡以上とする。 ・夜間照明設備 1m220の高さで平均照度1,000ルクス程度とする。また、フィニッシュラインは1,500ルクス以上を確保する。 ・電光掲示板 設置することが望ましい。仮設でもよい。 ・監視カメラ 12箇所必要とする。 ・観客の収容数 15,000人以上(芝生を含む)とする。メインスタンドは、少なくとも7,000人以上で屋根付きとする。 ・雨天走路 メインスタンドまたはバックスタンド側に必要とする。 ・補助競技場 第3種公認陸上競技場とする。1周400mの全天候舗装で6レーン以上とし直走路は8レーンとする。 ・投てき練習場 主競技場の至近に設置する。 ◆既設の場合 ・1周の距離 400m ・競走路 8レーンまたは9レーンとする。走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは18mm以上とする。 ・距離の公差 +1/10,000以内 ・障害物競走設備 水壕は、レーンの内側または外側に設置する。 ・各種跳躍場及び各種投てき場 仕様に示す数とする。 ハンマー投と円盤投のサークルは兼用型でもよいが、砲丸投のサークルと兼ねてはならない。 ・高齢者、身障者への配慮 車椅子席を設置する。その席数については、条例または行政と協議されたい。 ・用器具庫 2カ所以上とし、合計面積は500㎡以上とする。 ・夜間照明設備 1m220の高さで平均照度1,000ルクス程度とする。また、フィニッシュラインは1,500ルクス以上を確保する。 ・電光掲示板 設置することが望ましい。仮設でもよい。 ・監視カメラ 12箇所必要とする。 ・観客の収容数 15,000人以上(芝生を含む)とする。メインスタンドは、少なくとも7,000人以上で屋根付きとする。1994年以前からの第1種競技場のメインスタンドの収容数は、スタンド改修時に対応することに努めるものとする。 ・雨天走路 メインスタンドまたはバックスタンド側に必要とする。 ・補助競技場 第3種公認陸上競技場とする。1周400mの全天候舗装で6レーン以上とし直走路は8レーンとする。 ・投てき練習場 主競技場の至近に設置する。 〔(公財)日本陸上競技連盟「公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程」及び「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	水 泳 (その1)		競技番号	2
基準	日本水泳連盟公認のプール 1 競泳用50mプール 1 (隣接して25m補助プール 1) 2 飛込、アーティスティックスイミング用プール 1 (飛込用として10mの固定台と3mの飛板を備えていること。) 3 水球用プール 1 オープンウォータースイミング競技において、規定のコース(5km)	摘要	左記1、2、3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい。	
基準の主な内容				
1 競泳用50mプール【公認競泳プールのうち公称50m国内基準競泳プール】 ・ 長さ 50.02m(タッチ板を両端壁に設置する場合) 50.01m(タッチ板をスタート台側のみに設置する場合) ・ 幅 15.4m以上 ・ 水深 1.35m以上 ・ 水温 25℃以上28℃以下 ・ レーン数・レーン幅 6レーン以上、レーン幅は1レーン2.50m ・ レーン両端の余裕 0.20m以上で休息だなの幅以上 ・ 自動審判計時装置 設置することが望ましい。 ・ 練習施設 事情の許す限り50mプールを併設することとし、併設できないときは25mプールでも可とする。ただし、競技者が容易に使用できる練習施設が近隣にある場合は、これにかえることができる。				
2 飛込用プール【国内基準飛込プール】 ・ 飛 板 1m及び3m 各2基 ・ 飛 込 台 5m、7.5m、10m 各1基 ・ 水 深 10m飛込台の基線上の水深5.00m ・ 水 温 28℃以上 ・ プールの方向 屋外プールにあつては飛板及び飛込台は北向きに設置することが望ましい。 ・ 波立て装置 競技者の水面確認を容易にするために、飛込施設の下に水面を攪拌する装置を設置しなければならない。 ・ 練習施設 1m飛板 : 競技用と別に2基 飛込練習台: 飛込台と異なる側に助走及び踏切の練習用として、最低1基を設けること。				
3 アーティスティックスイミング用プール【国内基準アーティスティックスイミング競技プール】 (フィギュア競技エリア) ・ ルーティンエリアと同じエリアおよび水深を使用することができる。 (ルーティン競技エリア) ・ 競技区域及び水深 15.0m×20.0m以上の水域があり、そのうちの12.0m×12.0m分は水深3.0m以上なければならない。残りの水域の水深は2.5mとする。なお、水深2.0 m以上の場合、壁際での水深が2.0m で壁から最大1.2mのところでも最深の水深になるように傾斜していればよい。 ・ 水 温 水温は27℃以上でなければならない。 ・ プールの水 水底まではっきり見えるよう透明でなければならない。				
4 水球用プール【公認水球プールのうち国内基準公認水球プール】 ・ 競技エリア 男子: 長辺30.6m(ゴールライン間20.0m～30.0m) 短辺: 20.0m 女子: 長辺25.6m(ゴールライン間20.0m～25.0m) 短辺: 20.0m ・ 水 深 1.80m以上とする ・ 水 温 25℃以上27℃以下 ・ バウンダリーライン ゴールラインの後方(外側)0.30mの位置に設置するものとする。 ・ ゴールライン 各ゴールラインと後方のプール壁との距離は、1.66m以上とする。 ・ 設置要領 【別図1】に示す。				
※ 旧規則のもとで公認されたプール 旧規則のもとで公認を受けたプールについては、この規則に基づく公認を受けたものとみなし、再公認を与える。 〔(公財)日本水泳連盟「プール公認規則」から抜粋〕				

基 準 の 主 な 内 容

○【図 1】水球用プール



〔(公財)日本水泳連盟「プール公認規則」から抜粋〕

5 オープンウォータースイミング

- ・開催地は安全性を考慮し、流れがゆるやかで、海水、淡水もしくは汽水の水域とする。
- ・コース上すべての地点は水深が1.4m以上でなければならない。
- ・コースの折返しは、ターンブイ等ですべて明確に表示されなければならない。ターンブイはガイドブイ(補助ブイ)と別の色にしなければならない。
- ・ターン・ジャッジ艇等は、競技者の折返しの視野を妨害しないように、すべての折返し点に配置される。
- ・フィーディング・プラットフォーム、ターンブイ、ターン・ジャッジ艇等は固定され、潮の干満、風もしくはその他の動きに影響されないものとする。
- ・フィニッシュへの最終アプローチは目立つ色のマークやガイドロープで表示され、コースとの境界線を作らなければならない。
- ・フィニッシュは垂直面ではっきりと明示し、表示する。

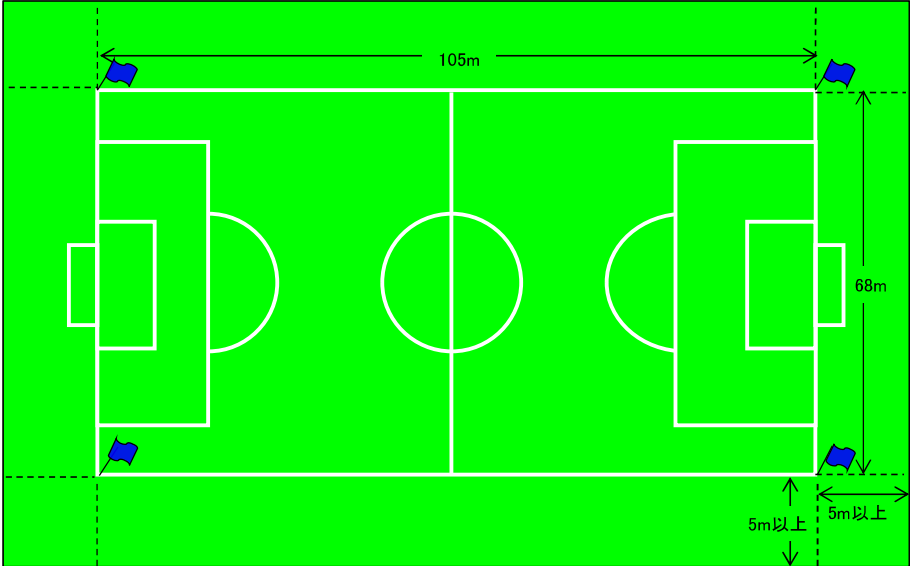
〔(公財)日本水泳連盟「オープンウォーター競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

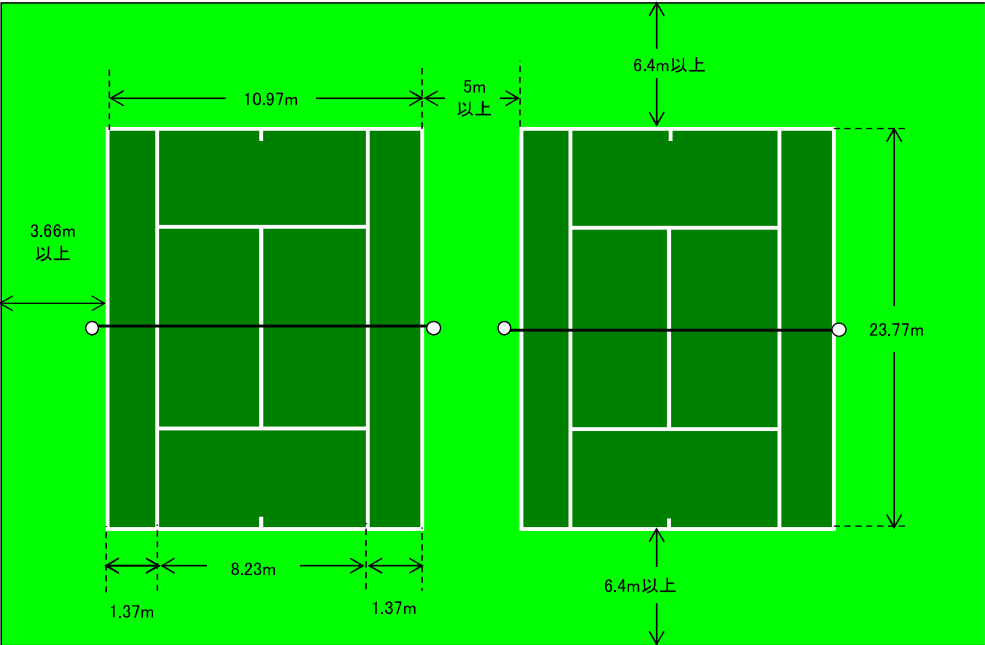
○ビデオ判定装置の設置が望ましい(オープンウォータースイミングを除く)。

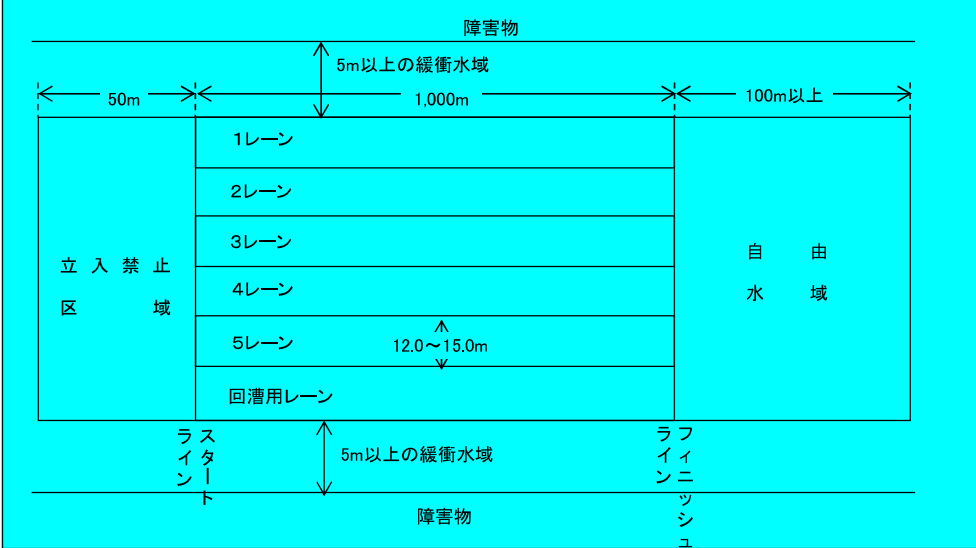
(先催県の事例)

競技名	サ ッ カ ー	競技番号	3
基準	規定の競技場 芝生7面以上	摘要	2会場地以上に分かれてもよい。 原則、天然芝とするが、全3面までJFA公認 人工芝ピッチの使用を可能とする。

基 準 の 主 な 内 容	
規定の競技場は次のとおり。  ○競技のフィールドの大きさは、「105m(タッチライン)×68m(ゴールライン)」とすること。 ○芝生面の余白(スペース)はタッチライン、ゴールラインそれぞれから5m以上確保すること。 〔(公財)日本サッカー協会 国体実施委員会「国民体育大会サッカー競技 施設ガイドライン」から抜粋〕 (備考) 日本国内での国際試合および国民体育大会等の全国的規模の大会でのフィールドの大きさは105m×68mとする。((公財)日本サッカー協会理事会決定 昭和60年11月21日)	
(配慮すべき事項)	
(先催県の事例)	

競技名	テニ ス	競技番号	4
基準	規定のコート 20面	摘要	2会場地に分かれる際は24面とする。

基 準 の 主 な 内 容	
規定のコートは次のとおり。  ○配置：コートは各ブロック2～4面が望ましい。 なお、競技運営上、競技本部より見通しのできることが望ましい。 ○大きさ等：コート間5m、ベースラインよりフェンスまで6.4m以上を基本とする。 （テニスコートの建設マニュアルによる他、テニス規則による。） ○コートサーフェス：全天候型が望ましい。 なお、少年種別会場のサーフェスはハードコートを推奨する。 ○コート照明：全テニスコートを対象に設置する。ただし止むを得ない事情のある場合は、最低4～8面でもよい。 コートの照度は、コート面から1mの高さで500ルクス以上を推奨する。 〔(公財)日本テニス協会「国民スポーツ大会テニス競技会の施設基準に関する細則」から抜粋〕	
(配慮すべき事項)	
(先催県の事例)	

競技名	ローイング	競技番号	5
基準	1,000mの5コースを有する水路 1、艇庫 1 (仮設でもよい) 回漕用として1コース程度を付設する水路	摘要	
基準の主な内容			
コースは次のとおり。  ○国民スポーツ大会ローイング競技は、B級以上のコースで行う。 ○競漕レーンは、直線でなければならない。 ○フィニッシュラインの後方に、長さ100m以上の自由水域を設けなければならない。 ○コースの各レーンは互いに平行し、各レーンの幅は標準12.5m、最小限12.0m、最大限15.0mとする。 ○競漕レーンの外境と岸、その他固定構築物との間には、5m以上の間隔(緩衝水域)を設けなければならない。 ○レーンの水深は、各レーンの深さが均等でない場合は3m以上、各レーンの深さが均等な場合は2m以上とする。 ○コースに流れのあるときは、競漕レーンの全幅について同一の速さであり、かつ流速20cm/秒(B級)を越えないことを原則とする。 〔(公社)日本ローイング協会「競漕規則」及び(公社)日本ローイング協会「コース規格規定」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	ホ ッ ケ ー	競技番号	6
基準	規定の競技場2面	摘要	
基 準 の 主 な 内 容			
規定の競技場は次のとおり。 このエリアは競技場の表面と異なる材質でも可 （注）〈 〉内は規則等に記載は無いが、配慮すべき事項			
○プレイフィールドは、幅55mのバックラインと長さ91.4mのサイドラインで仕切られた長方形である。 ○走り抜けるためのエリア（ラインから外のエリア）は、競技場の表面（人工芝等）と同質のものでなければならない。 ○ランオフエリア内側はプレイフィールドの表面と同質素材で、その範囲はバックライン側が最小3m、サイドライン側が最小2mとする。それ以外の材質でもよいが、その外側（ランオフエリア外側）に試合運営のために最小1mのエリアを確保すること。これはあくまで必要最低限であって、バックライン側は内側3m＋外側2m、サイドライン側は内側2m＋外側2mを強く推奨する。 〔(公社)日本ホッケー協会「ホッケー競技場施設基準」から抜粋〕 ○競技場2面は、人工芝（うち1面は日本ホッケー協会公認）とする。 〔(公社)日本ホッケー協会「国民スポーツ大会ホッケー競技場施設基準（第4条）」から抜粋〕 （配慮すべき事項） （先催県の事例）			

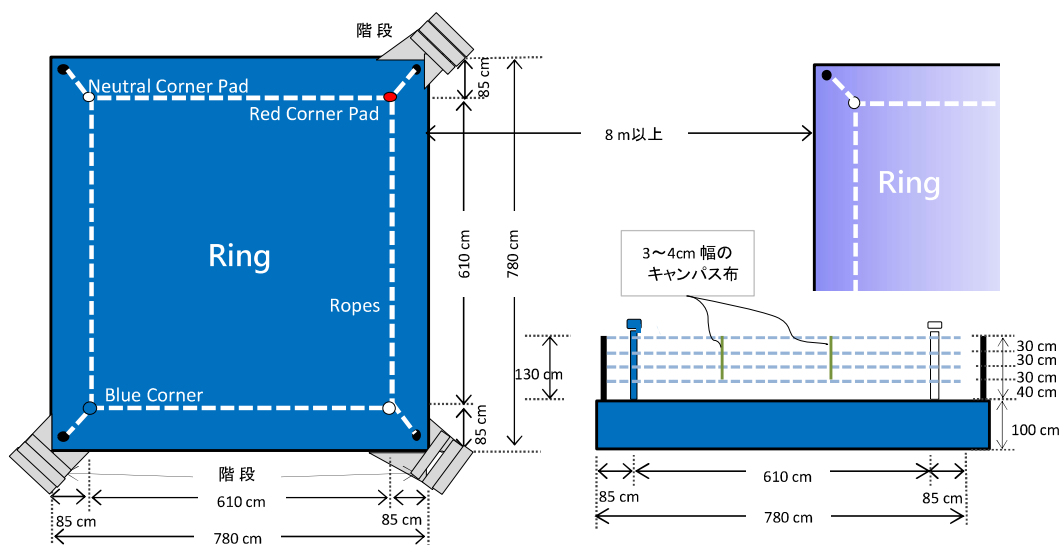
競技名	ボクシング	競技番号	7
-----	-------	------	---

基準	規定のリング2面を設置することができる体育館 1 (床面積:縦40m以上×横35m以上) 検診、計量会場、医療室、グローブング室、 選手練習場などの付帯施設	摘要	
----	---	----	--

基準の主な内容

規定のリングは次のとおり。

- (1) 日本連盟公認リングを使用しなければならない。
- (2) リング・キャンバス等のサイズ…図参照 ※キャンバス地は青色とする。



(3) リングフロアー

- ① リングフロアーは、柔らかく質が高く弾力性のあるフェルトゴム、もしくは他の適した承認済みの素材をもちいること。厚みは1.5cm以上2.0cm以下とする。
- ② キャンバスは全床を覆い、滑りにくい素材からできていなければならない。

(4) リングロープ

- ① リングロープは安全な素材で覆われていること。
- ② リングにはコーナーポストそれぞれに4本のロープが取り付けられていること。厚さはカバーを除いて、太さはそれぞれ4cmとする。
- ③ 4本のロープの位置は、キャンバスから、40cm、70cm、100cm、130cmである。
- ④ 辺の4本のロープは3cmから4cm幅のキャンバス布2本で等間隔につなぐ。
- ⑤ 上の2本のロープはピンと張っていないなければならない。下の2本のロープは張りがきつすぎではない。

(5) 階段

リングには3つの階段を備え付けること。その内の2つは競技者とセカンドが使用する赤・青コーナーに取り付け、残りの1つはDTD側ニュートラルコーナーに取り付け、レフリーとリングドクターが使用する。

※ DTD : デビューティーテクニカルデリゲート

〔「(公社)日本ボクシング連盟 競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

○リングの照度は1,200～1,500ルクスが望ましい(照明は仮設で可)。

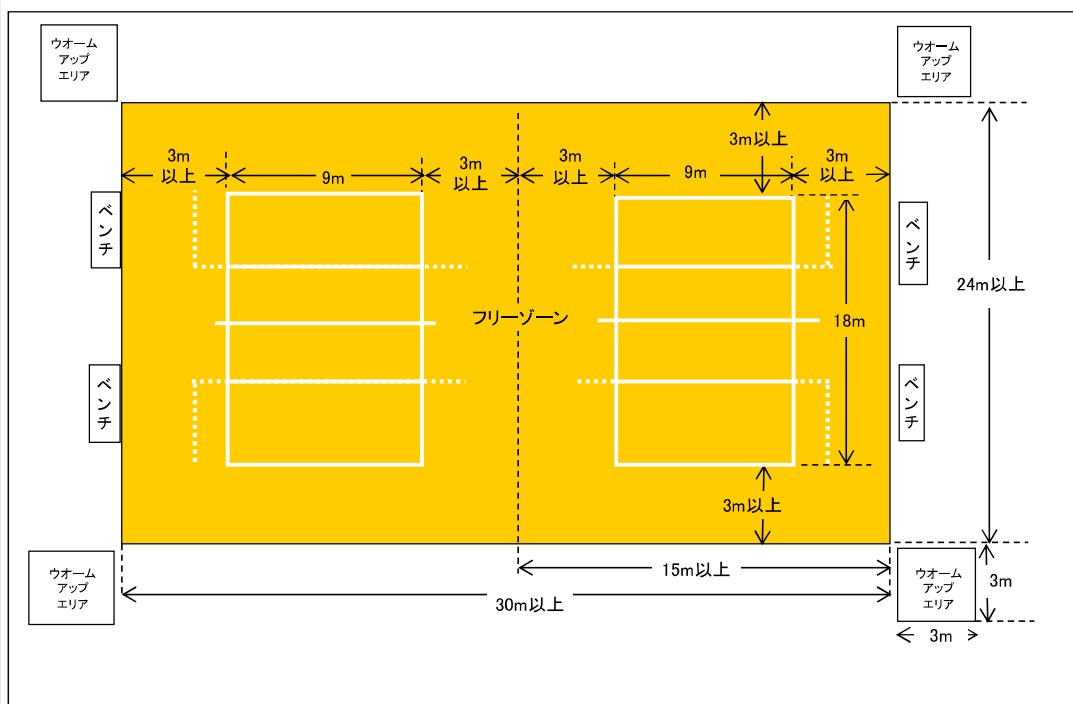
(先催県の事例)

床面積:縦40m以上×横35m以上 ⇒ 縦36m×横30m

競技名	バレーボール(その1)	競技番号	8
基準	6人制競技においては、規定の屋内コート8面 ビーチバレーボール競技においては、規定のコート2面(男女各1) 練習コート2面(男女各1)	摘要	<6人制競技> 2会場地以上に分かれてもよい。 体育館の天井の高さは10m以上が望ましいが、7m以上あればよい。 <ビーチバレーボール競技> 2会場に分かれてもよい。 プレイゾーン上空は、ネットの上端から10m以内に障害物がないこと。

基準の主な内容

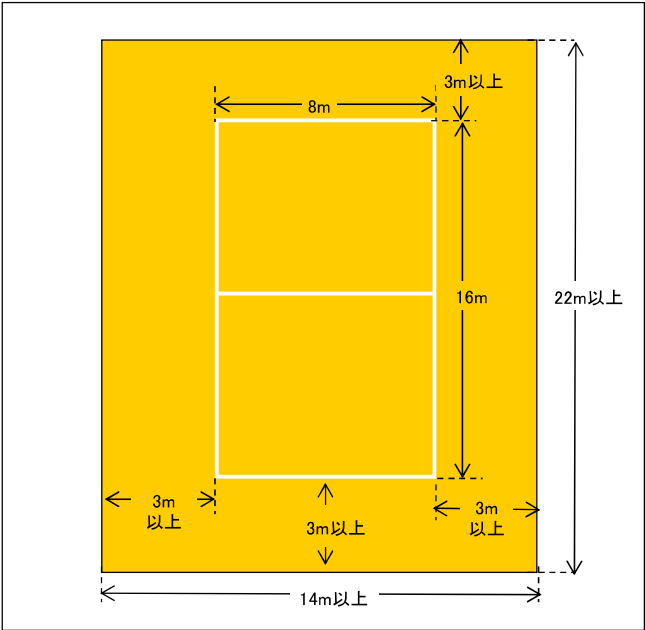
<6人制競技>
コートは次のとおりとする。



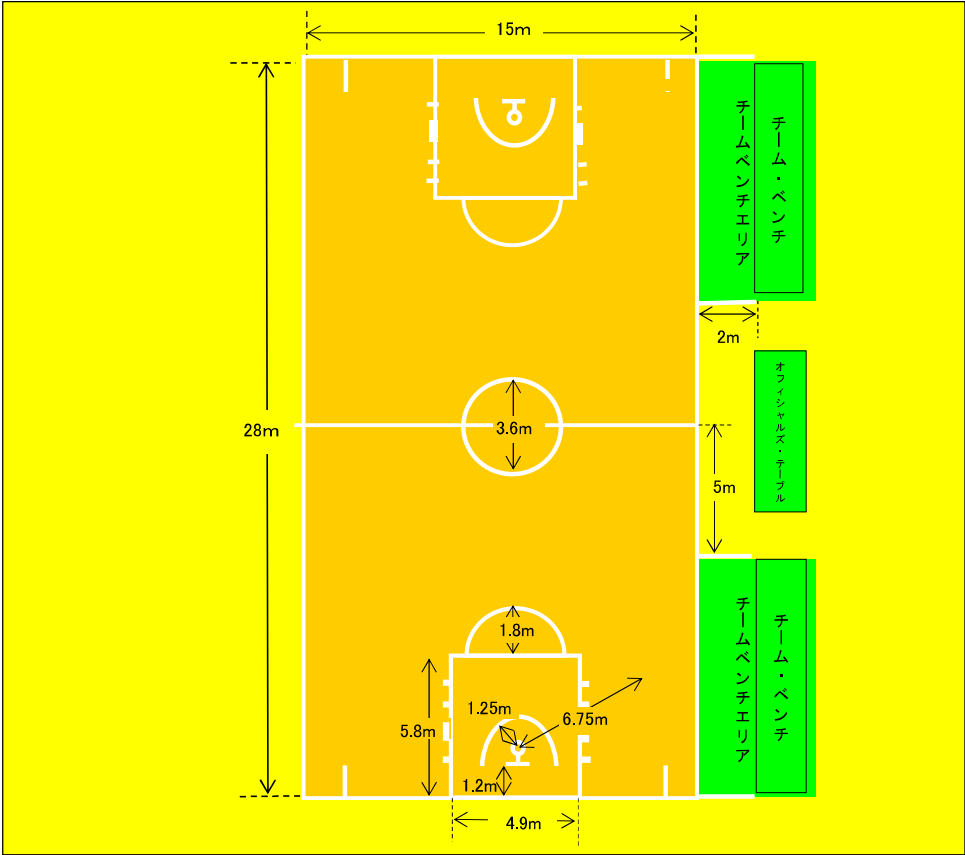
- コートは18m×9mの長方形で、最小限3mの幅のフリーゾーンで囲まれている。
- ネットの支柱は、サイドラインの外側0.5～1mの位置に設置する。
- フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技をする表面から、最小限7mの高さがなければならない。
- 3×3mの大きさのウオーム・アップ・エリアがフリー・ゾーン外側の両方のベンチ側のコーナーに設けられる。
- アタック・ラインは、サイド・ラインから外側に、長さ15cm、幅5cmの短いラインを20cm間隔で、全長1.75mとなる破線を引いて延長される。

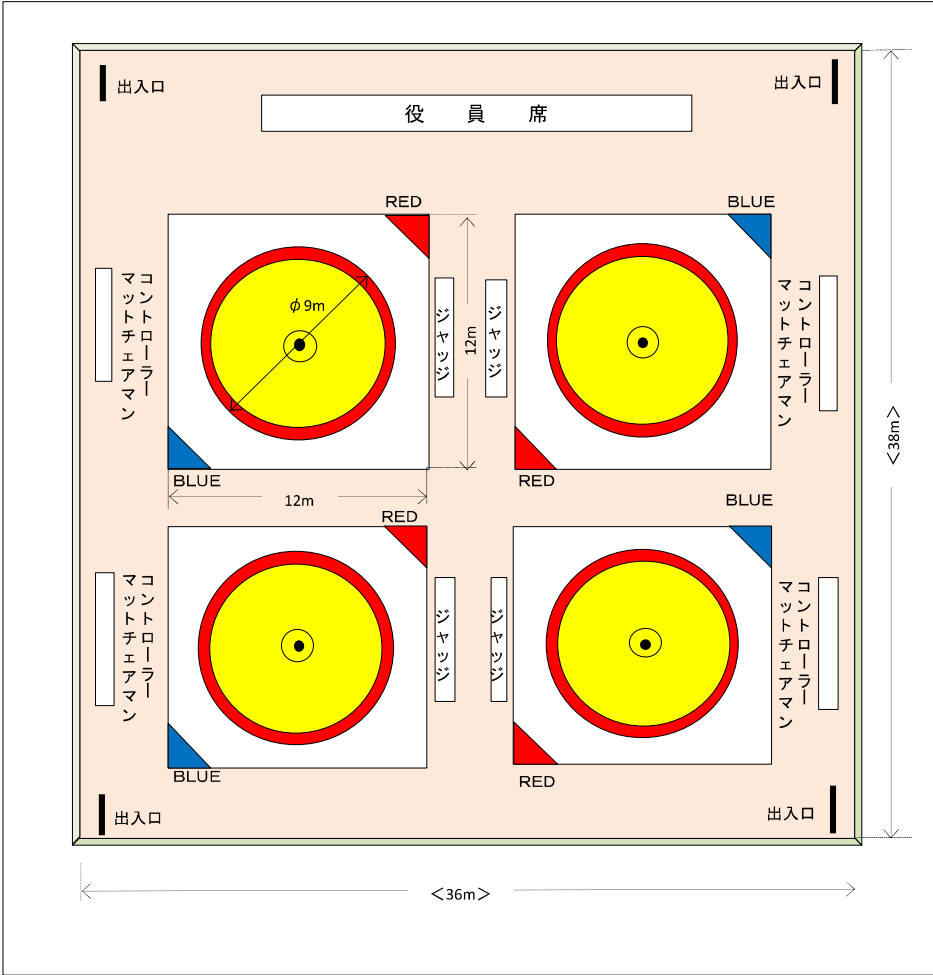
〔(公財)日本バレーボール協会「バレーボール6人制競技規則」から抜粋〕

競技名	バレーボール(その2)	競技番号	8
-----	-------------	------	---

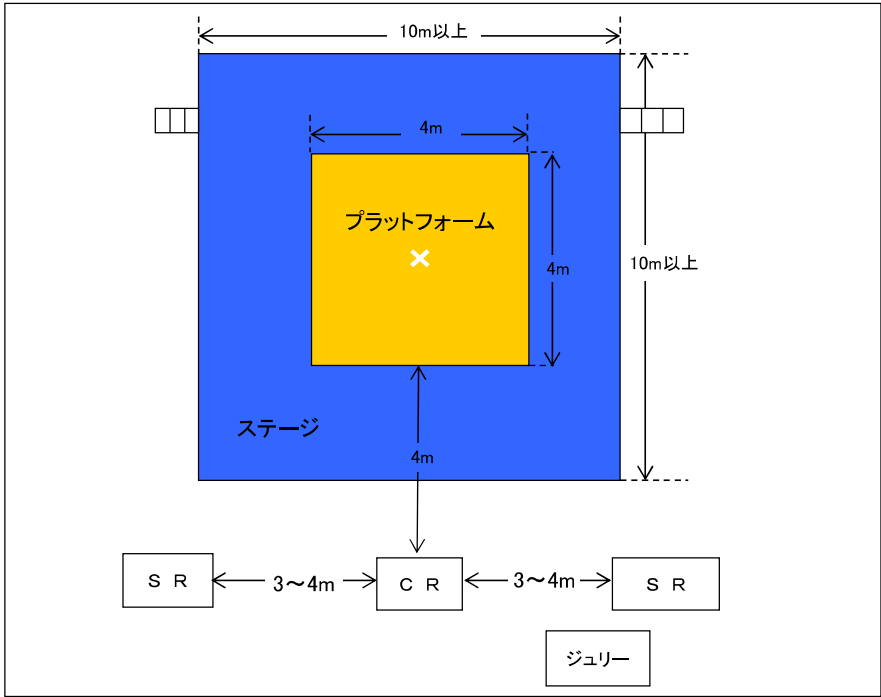
基準の主な内容	
<ビーチバレーボール競技> コートは次のとおりとする。  ○コートは16×8mの長方形で、エンドラインおよびサイドラインから少なくとも3mの幅のフリーゾーンにより囲まれている。 ○地面は、できる限り水平で均一であり、小石、貝殻、その他選手が切り傷や負傷する危険性のあるものが混じっていない、ならされた砂でなければならない。 ○競技エリアの表面は、選手に負傷の危険が及ばないものでなければならない。 ○フリープレー空間は、障害物が何もない競技エリアの上方の空間で、競技エリアの表面から、少なくとも7mの高さがなければならない。 ○ネットの支柱は、サイドラインの外側1mの位置に設置する。 〔(公財)日本バレーボール協会「競技要項」から抜粋〕	
(配慮すべき事項)	<6人制競技> ○競技運営上、同一競技会場内に2面以上とれる。 ○競技運営上、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子を単位として、最大4会場地とする。
(先催県の事例)	<6人制競技> ○エンドラインから6.5m以上、サイドラインから5m以上⇒不足エリアに安全対策として防御ラバー設置

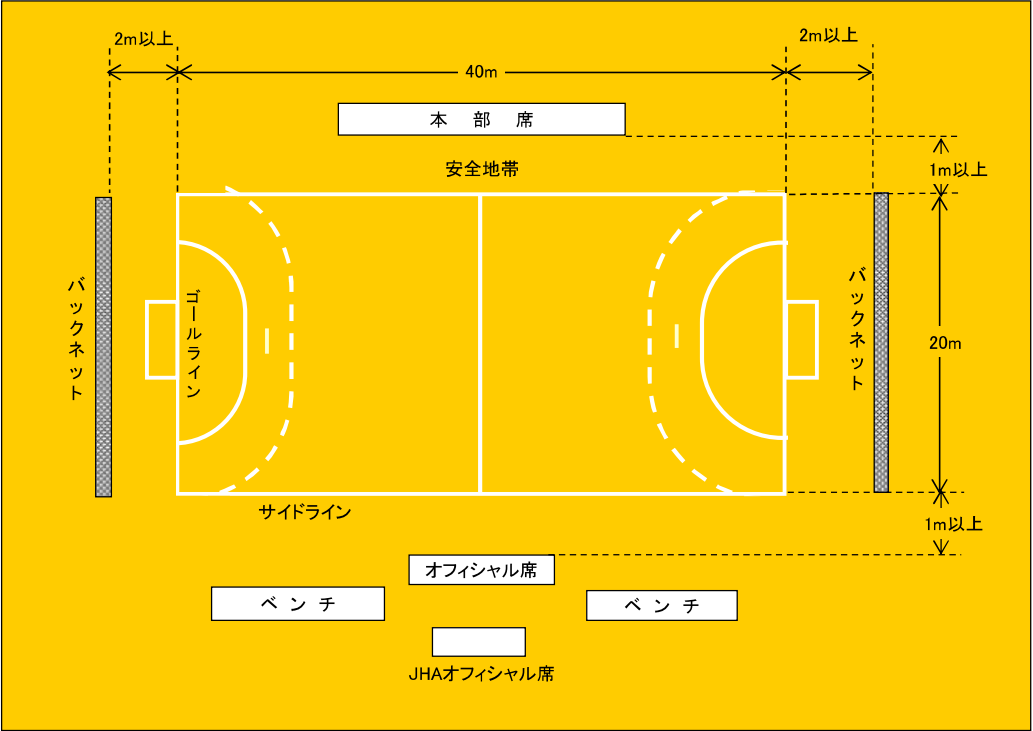
競技名	体 操	競技番号	9
基準	体操競技および新体操においては、規定の各器具を設置することができる体育館 1 トランポリンにおいては、規定のトランポリン器具や安全マットなどが設置できる体育館 1	摘要	<体操競技および新体操> 2会場地に分かれてもよい。 <トランポリン> 天井高は10m以上が望ましい。 トランポリン器具周辺の安全マットの厚さの基準は20cmとする。
基 準 の 主 な 内 容			
規定の各器具を設置することができる体育館は次のとおり。 【体操競技】 ○ 競技場の広さ 2000㎡以上 ○ 競技場の高さ 12m以上 ○ 空調設備 選手に競技しやすい環境を提供できるよう冷暖房を完備していること 【新体操】 ○ 競技場の広さ 2000㎡以上 ○ 競技場の高さ 12m以上 ○ 演技面 内側13m×13m その周りには最低1mの安全地帯を設ける なお、演技台を設ける場合には最低2mとする。 ○ 空調設備 選手に競技しやすい環境を提供できるよう冷暖房を完備していること ※但し、地元の保有施設がこの限りでない場合には、別途検討、調整を図る。 〔(公財)日本体操協会「国民スポーツ大会体操競技の会期及び施設、器械等のガイドライン」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
○照度は、1,000ルクス以上が望ましい。			
(先催県の事例)			

競技名	バスケットボール	競技番号	10
基準	規定の屋内コート10面	摘要	近接であれば2会場以上に分かれてもよい。
基準の主な内容			
規定のコートは次のとおり。〔規則2.1〕  ○コートは、チーム・ベンチに座っている人を含むすべての障害物から2m以上離れていなければならない。 〔(公財)日本バスケットボール協会「バスケットボール競技規則」から抜粋〕 (配慮すべき事項) ○オフィシャル席をどちらのサイドにも設置可能にするため、また、プレーに障害のないようにするため、コートの境界線から障害物までの距離は5m以上が望ましい。 ○隣接するコートの間隔は、7m以上が望ましい。 ○照度はコート面上1mの高さで700ルクス以上とすることが望ましい。 ○競技会場は、運営上、隣接する最大4会場とし、成年男子、成年女子・少年女子、少年男子を単位とする。 (先催県の事例) 規定の屋内コート10面⇒規定の屋内コート7面			

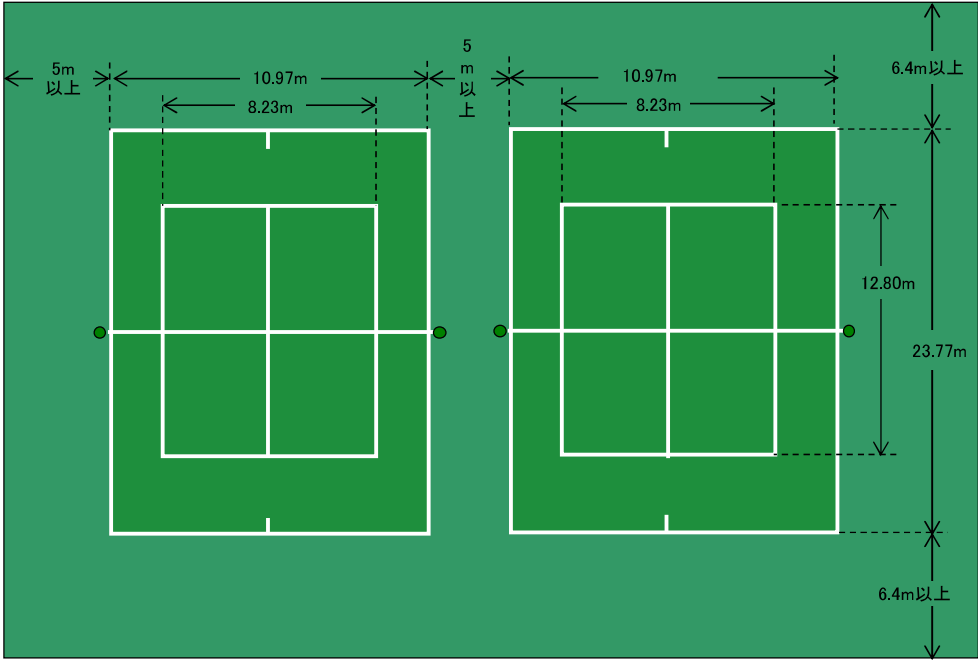
競技名	レスリング	競技番号	11
基準	規定のマット4面を設置することができる 体育館 1	摘要	
基準の主な内容			
規定の競技場は次のとおり。  ○マットは、9m直径の円形で、1.5m幅の同じ「厚さ」の補助部分を有するものとする。 ○マットに隣接する木質部分のフローアは、柔らかい材質で完全に覆わなければならない。 ○競技会を円滑に運営するためにマット周辺には、適切な広さの、フローア残余部分を有しなければならない。 〔(公財)日本レスリング協会「レスリング国際ルール(第4条)」から抜粋〕 (配慮すべき事項) ○マットの余地は4mが望ましい。 ○観客の視野を確保するために、1.1mまでの高さの「プラットフォーム」上にマットを設営することが望ましい。 (先催の事例)			

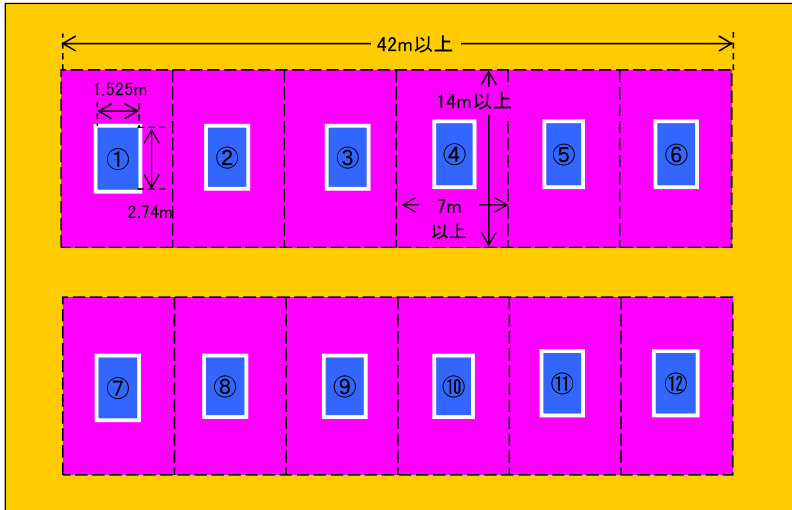
競技名	セーリング	競技番号	12
基準	日本セーリング連盟が適当と認める水域 1(2海面) ヨットハーバー、艇庫及び競技運営棟(仮設でもよい)	摘要	
基準の主な内容			
コースの図示の例 〔(公財)日本セーリング連盟「2021-2024セーリング競技規則」抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○競技水域は、ヨットハーバーの近くにあることが望ましい。 ○ヨットハーバーから競技水域まで十分の水深があることが望ましい。 ○ヨットハーバーから競技水域まで杭・漁網などの障害物がないことが望ましい。 ○ウィンドサーフィン用はヨットハーバー内に人工芝を張るか、砂浜が隣接していることが望ましい。			
(先催県の事例)			

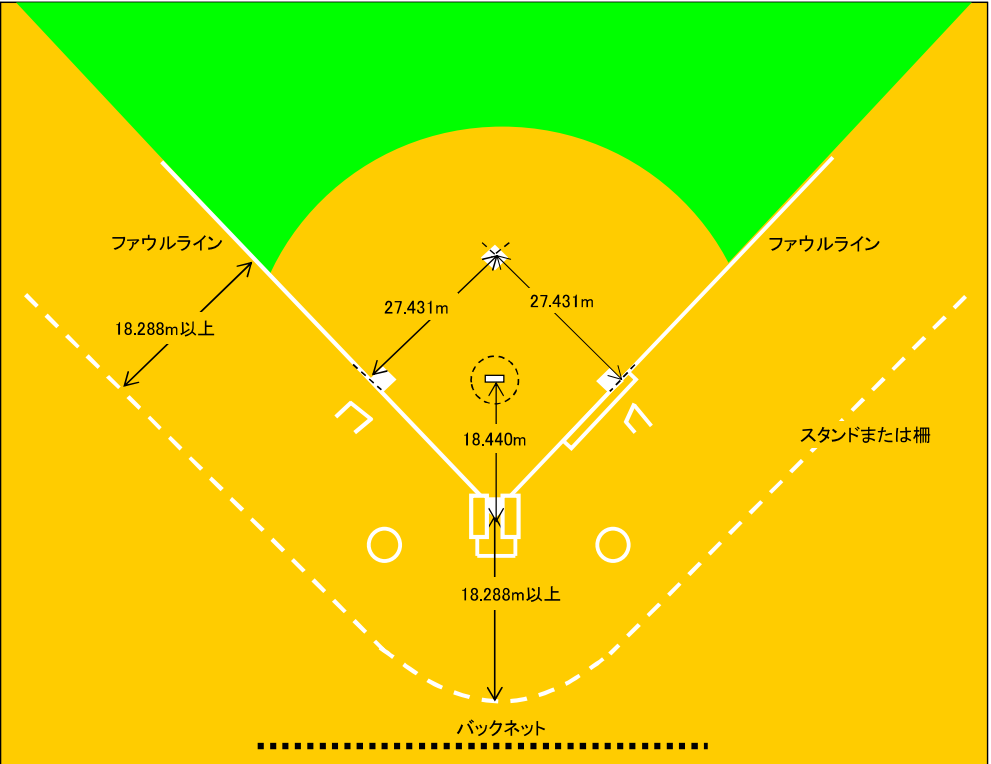
競技名	ウェイトリフティング	競技番号	13
基準	・競技会場は下記のいずれかとする。 ①規定のプラットフォーム1面を設置することができる施設 1 ②規定のプラットフォーム2面を設置することができる施設 1 ③規定のプラットフォーム1面を設置することができる施設 2 ・ウォーミングアップ場を各施設に1 (8セット以上のバーベルとプラットフォーム) ・練習会場 1 (10セット以上のバーベルと練習用プラットフォーム)	摘要	③の場合は両施設が近接していることが望ましい。 競技日程は、競技会場が①の場合は5日間、②あるいは③の場合は3日間とする。
基準の主な内容			
規定のプラットフォーム等は次のとおり。  ○プラットフォームは水平な4m四方とする。プラットフォームと周辺の床が類似した色である場合は、区別するために最低10cm幅の異なる色で縁取りしなければならない。 ○プラットフォームは木・プラスチック又はその他の固い素材で作られていること。そして、それらは滑らないものでカバーされていていもかまわない。 ○(プラットフォームの)厚さは10cmを超えてはならない。 ○ステージの大きさは最低10m×10mとし、レフリー席およびジュリー席の床面からプラットフォーム表面までの高さは最大80cmとする。プラットフォームには標準的な段差をもつ階段を備え付けておかなければならない。 ○競技場のもっとも近いところにウォーミングアップ場を用意しなければならない。ウォーミングアップ場は参加競技者数に応じて適切な数のプラットフォームなどが備えられていないといけない。 〔(一社)日本ウェイトリフティング協会「競技・競技会規則」から抜粋〕 (配慮すべき事項) ○会場は、体育館または公会堂的なものとし、フロアの広さは1,000㎡～1,200㎡程度が望ましい。 (先催県の事例)			

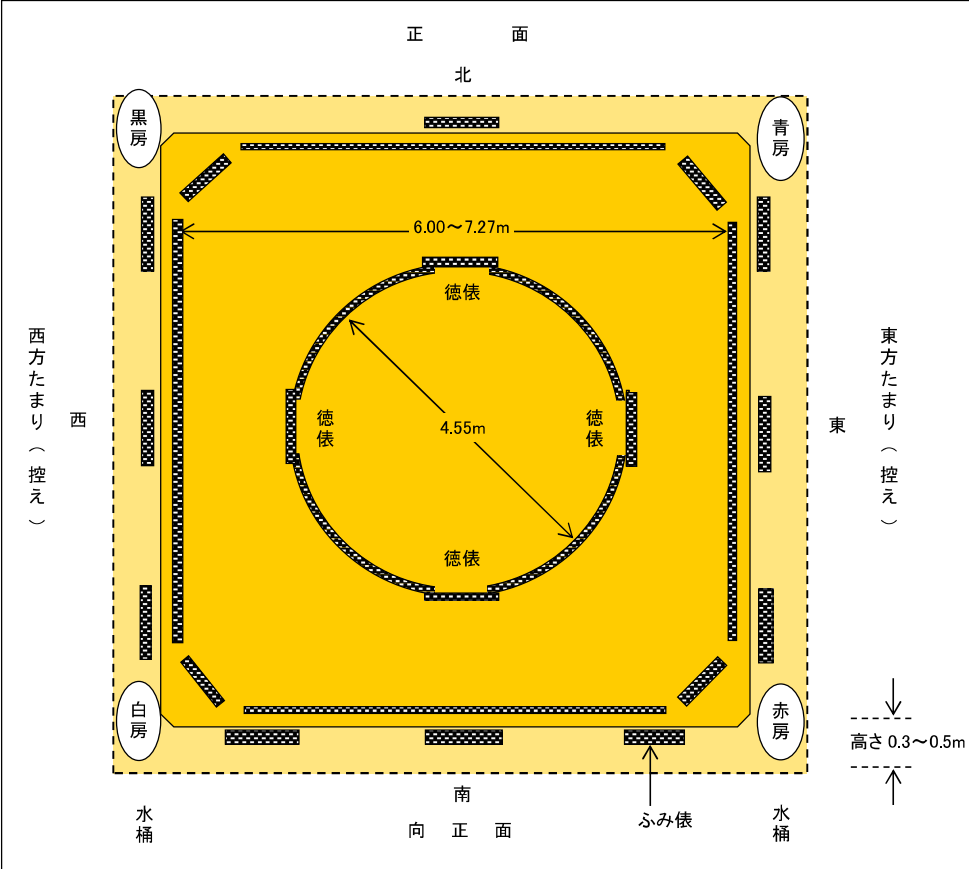
競技名	ハンドボール	競技番号	14
基準	規定の屋内競技場6面	摘要	2会場地に分かれてもよい。 体育館の天井の高さは10m以上が望ましいが、7m以上あればよい。
基準の主な内容			
規定の競技場は次のとおり。  ○コートの周囲には、サイドラインに沿って幅1m以上、ゴールラインの後方に幅2m以上の安全地帯を設けなければならない。 〔(公財)日本ハンドボール協会「ハンドボール競技規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○屋内競技場の照度は、800ルクス以上が望ましい。 ○サイドラインに沿って2m、アウターゴールラインに沿って3～5mの安全地帯を設けることが望ましい。 ○競技場を2面並列する場合は、コート間の距離は7m以上離すことが望ましい。			
(先催県の事例) 規定の屋内競技場6面⇒既定の屋内競技場5面			

競技名	自 転 車	競技番号	15
基準	規定の競技場 1 規定のロードレースコース(1周の周長が少なくとも10km以上であり、10～15kmを原則とする周回ロードコース)	摘要	
基 準 の 主 な 内 容			
1 規定の競技場は次のとおり。 ①屋外競走路の周長 500m、400m、333.33m、285.714m、および250mの5種類とし、競走路の幅員(路面実長)は7.0m～9.0mとする。 ②競走路の構造 競走路の路面は、木造板張りまたはコンクリート舗装、アスファルト舗装をもって施工し、競走を安全に行うために必要な硬度及び強度を有し、平坦でかつ均一な材質でなければならない。また、濡れた場合にもできるだけ速く乾くよう不透水性であることが望ましい。 ③安全地帯 競走路の内側に、ブルーバンドを含めて、最小幅員4mの安全地帯を設ける。 ④コーナー及びバンク 競走路は、長さ15m以上の直線部、最小曲率半径を有する円曲線部およびこれらの直線部と円曲線部を結ぶ緩和曲線部を有する。 ⑤直線部 通常6～8°の横断勾配をつけるが、緩和曲線部の横断勾配により調整する。ただし、15°を越えないようにする。 ⑥胸壁又は金網柵 競走路と観客席を区画するために、競走路の外側に沿って、最低90cmの高さの胸壁を設ける。 ⑦競走路の標示線 競走路の内縁から内側を最少走路の10%幅でブルーに塗り、これをブルー・バンドと称する。ブルー・バンドはトラックの走行面には含まれない。 ⑧補助走路 インフィールド又は保護地帯の内側にウォーミングアップ、クーリングダウンのための補助走路を設ける。 ⑨インフィールド 円滑な競技大会運営のために、インフィールドにいる人員が妨げにならないよう、インフィールドは走路より75～100cm低くすることが望ましい。 〔要項16〕 〔(公財)日本自転車競技連盟「競技規則 付表2-5: 自転車競技場および施設に関する基準要項」から抜粋〕 2 規定のロードレースコースは、次のとおり。 ○国民スポーツ大会のロード・コースは、1周10km～15kmの周回コースであることを原則とする。 ○登坂路、降坂路とともに平坦な区間も含み、鉄道路切、鋭角のカーブ、断崖、降り坂の急カーブ等の注意箇所のない舗装道路とする。また、選手団通過時に全面交通規制ができることが望ましい。 ○幅員は6m以上で、最後の1km地点からフィニッシュ・ラインの後方100mまでは最小8mとし、10m以上であることが望ましく、視距離前後200m以上とする。ただし、道路外が直ちに建物、壁、側溝、崖等になっている場合は配慮する。フィニッシュ地点は平坦もしくは上り坂とする。 ○1日ロード・レースの場合は、スタート・フィニッシュが同一点であることが望ましい。 ○随行車両がフィニッシュ・ラインを横切らずに駐車場へ入れる迂回路があること。 〔(公財)日本自転車競技連盟「競技規則 付表2-5: ロードレースのコースに関する基準要項」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

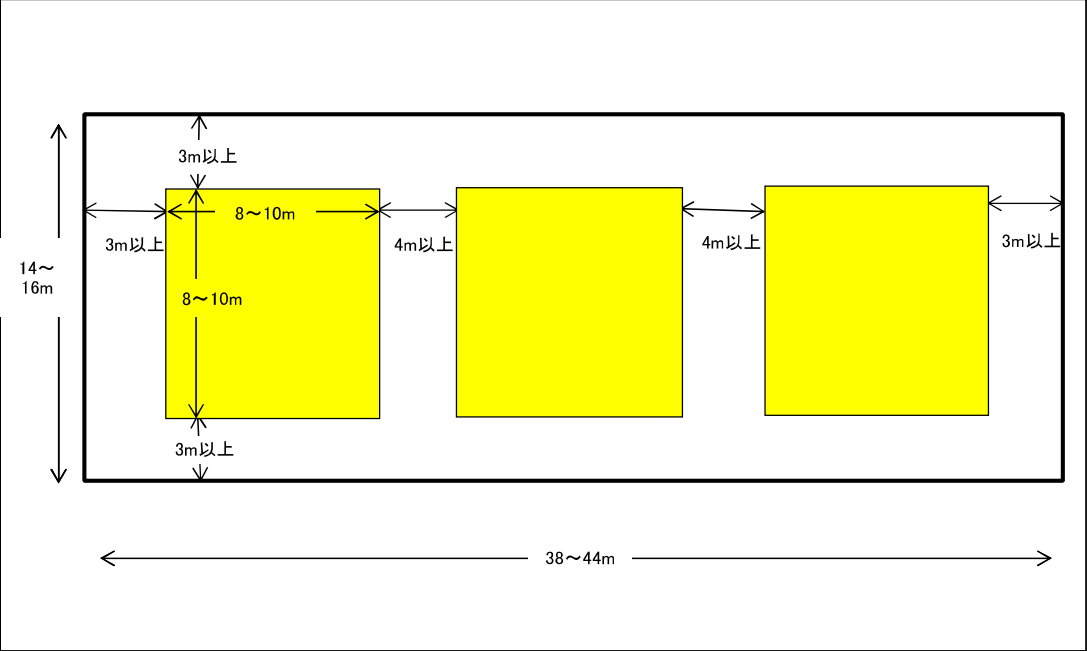
競技名	ソフトテニス	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。
基準の主な内容			
規定のコートは、次のとおり。  ○アウトコートはコート周囲のスペースで、ベースラインから後方に6.4m以上、サイドラインからは外側に5m以上であることを原則とする。 ○コートが2面以上並ぶ場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。 ○コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、人エクレイ、砂入り人工芝又は全天候型等とし、インドアでは、木板、人エクレイ、砂入り人工芝、硬質ラバー又は全天候型等とする。 〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○ナイター照明があることが望ましい。			
(先催県の事例)			

競技名	卓 球	競技番号	17
基準	規定のコート12面(予備コート2面を含む)を設置することができる体育館 1	摘要	2会場地に分離して開催する場合は、各体育館に、規定のコート8面を設置する。
基準の主な内容			
規定のコートは、次のとおり。  ○競技領域は、長さ14m、幅7m以上の長方形で、高さ5m以上なければならない。 ○競技領域は、隣接の競技領域と観戦席から、高さ約75cmまたは50cmの均一な濃色の「フェンス」で、区切られていなければならない。 ○プレーイングサーフェスの高さで計った照度は、プレーイングサーフェス全面にわたって 1,000ルクス以上、競技領域のその他の部分における照度は500ルクス以上でなければならない。 ○照明源は床上5m以上になければならない。 ○背景は全般的に濃色で、明るい照明源、または覆われていない窓を通す日光が含まれてはならない。 ○競技場の床は、明るい色、または明るく反射したり、滑りやすいものであってはならない。 〔(公財)日本卓球協会「日本卓球ルール」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	軟 式 野 球	競技番号	18
基準	規定の野球場5面	摘要	2会場地以上に分かれていてもよい。 2会場地以上に分かれる場合は6面とする。
基 準 の 主 な 内 容			
規定の野球場は、次のとおり。  ○本塁からバックストップまでの距離、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはプレイの妨げになる施設までの距離は、18.288m以上を推奨する。 〔日本野球規則委員会「公認野球規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○ナイター照明があることが望ましい。 ○安全上フェンス等にラバーを設置することが望ましい。 ○両翼90m以上、中堅110m以上が望ましい。			
(先催県の事例)			

競技名	相 撲	競技番号	19
基準	規定の競技場 1	摘要	
基準の主な内容			
規定の競技場は、次のとおり。  ○土俵は盛土俵とし、土俵の表面は一辺600cm以上727cm以下の正方形とする。 ○土俵の高さは、30cmから50cmとする。 ○勝負俵は、土俵表面の対角線の交点を中心とした直径455cmの円の外側に埋めた小俵とする。勝負俵に使用する小俵の数は24個とする。そのうち4個は徳俵とする。 ○土俵の上には屋根(特設の枠組みのものを含む。)をつるす。 [(公財)日本相撲連盟「土俵規程」から抜粋] (配慮すべき事項) ○競技場は屋内であることが望ましい。 ○土俵構築には、荒木田土を使用することが望ましい。 ○練習土俵は、6面以上で、テントで覆うことが望ましい。 (先催県の事例)			

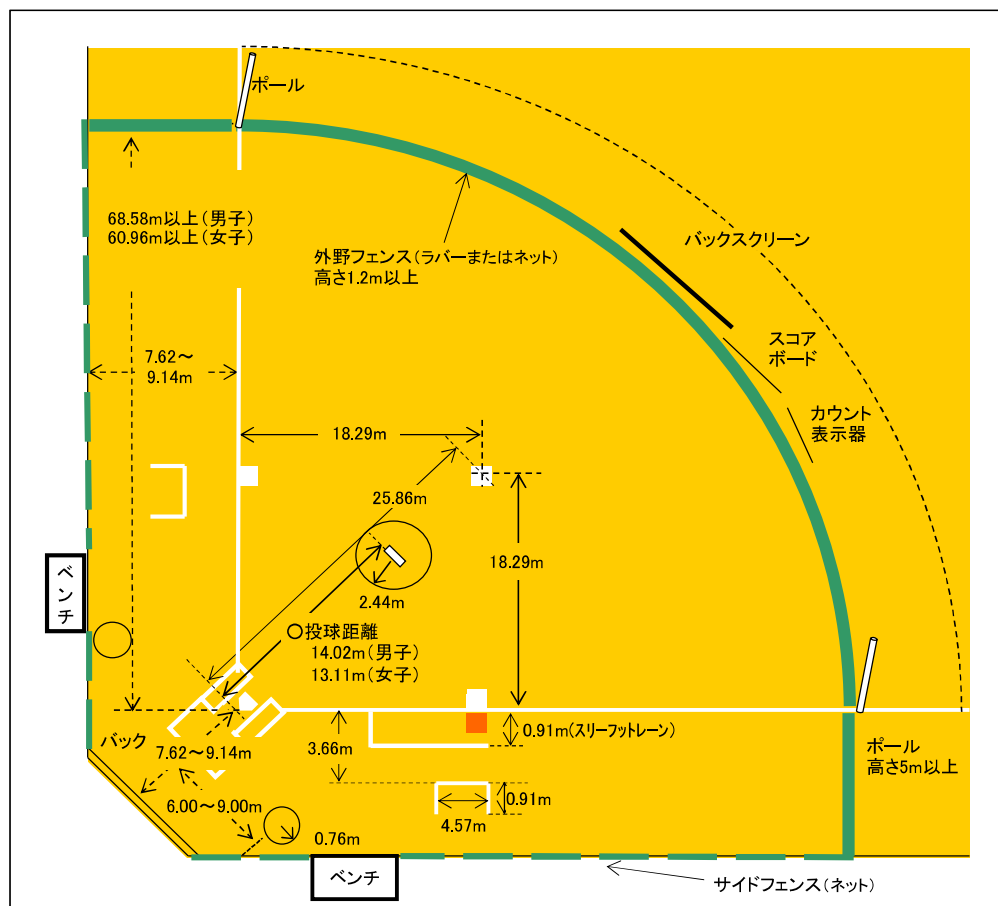
競技名	フェンシング	競技番号	20
基準	規定のピスト8面を設置することができる体育館 1	摘要	開催時期により空調施設を有することが望ましい。
基準の主な内容			
規定のピストは次のとおり。 ○ 競技場は平坦な表面でなければならない。両選手のどちらにも有利あるいは不利な点を与えてはならない。とくに光に関しては注意しなければならない。 ○ フェンシングに使用される競技場はピストと呼ばれる。 ○ 3種目の競技は同じピストで行われる。 ○ ピストの幅は、1.5mである。 ○ 長さは14mである。それゆえに、センターラインから2mのところに位置した選手には、ピスト後方限界線を両足で踏み出さずに自由に後退できる5mの距離がある。 〔「国際フェンシング連盟 競技規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	柔 道	競技番号	21
基準	規定の競技場3面を有する柔道場又は体育館1 試合会場に隣接した練習場1(150畳程度)	摘要	試合場は原則として床面に直接畳を設置する。ただし、床面が固く、弾力が無い場合はかさ上げをするなど、選手の安全を考慮して設置する。
基準の主な内容			
規定の競技場は、次のとおり。  ○2つ以上の隣接した試合場を設ける場合、両試合場の間には4mの共用の安全地帯を確保しなければならない。 〔「国際柔道連盟試合審判規定」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	ソフトボール		競技番号	22
基準	規定の競技場8面	摘要	2会場地以上に分かれてもよい。	

基 準 の 主 な 内 容

規定の競技場は次のとおり。



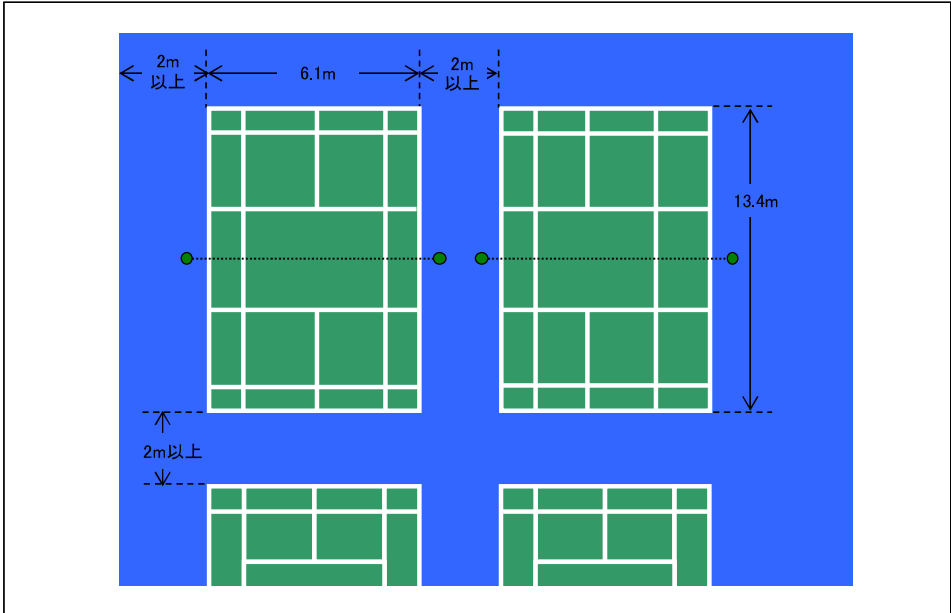
- 競技場は平坦で、障害物のない地域であり、その上方空間を含む。
- フェア地域は、両ファウルラインと、本塁（ホームプレート）から、男子68.58m以上、女子60.96m以上の半径の円弧に囲まれた地域である。
- ファウル地域は、両ファウルラインの外側、および本塁とバックネットの間の地域である。

〔(公財)日本ソフトボール協会「オフィシャル・ソフトボール・ルール」から抜粋〕

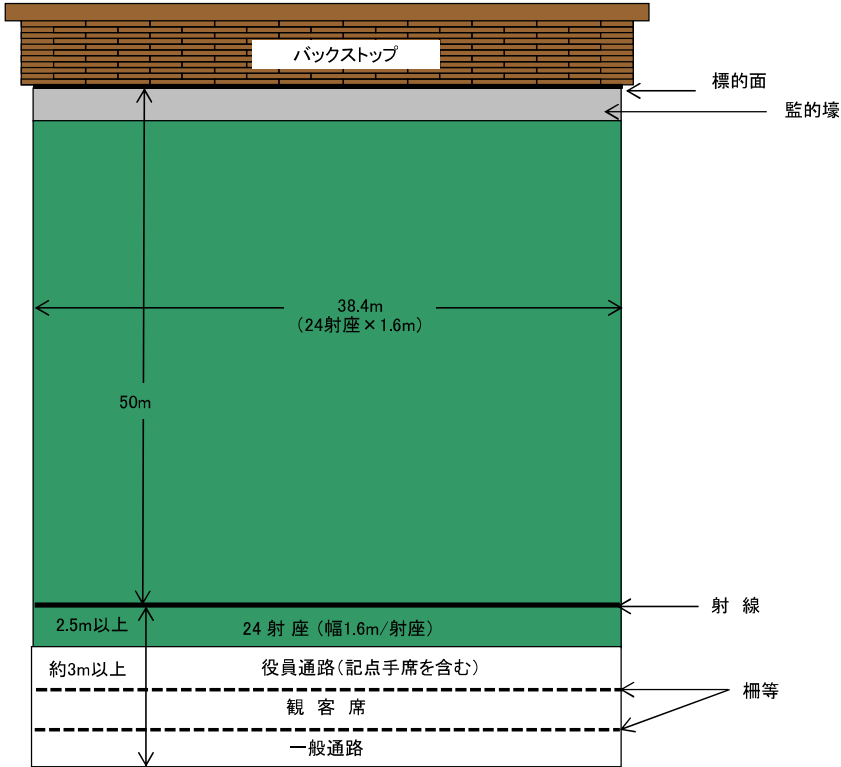
(配慮すべき事項)

- ナイター照明があることが望ましい。
- 国際規格変更により(2002年)に伴い、本塁から外野フェンスまでの距離が、男子76.20m以上、女子67.06m以上が望ましい。
- 競技運営上、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子を単位として、最大4会場地とする。
- 競技運営上、各種別ごとに試合用2面が同一施設内に確保できる。

(先催県の事例)

競技名	バドミントン	競技番号	23
基準	規定のコート8面を有する体育館 1	摘要	2会場に分かれてもよい。 体育館の天井の高さは12m以上あればよい。
基準の主な内容			
規定のコートは、次のとおり。  ○大会に使用する会場は、屋内で競技中は風をしゃ断しなければならない。 ○天井の高さは、コート面より12m以上とする。 ○競技区域は、コート外側四周にそれぞれ2m以上の余裕がなければならない。1会場に2面以上のコートを設ける場合でも、隣接するコートとの間隔は2m以上(※)とする。 ※隣接する競技区域との間隔は2m以上あることが望ましいが、確保できない場合は、プレーに支障なく行われるように運営する。 ○会場の照度は、各コートともネットの中央上縁において1200ルクス以上(※)とする。 ※照明が1200ルクス未満であった場合は、会場ルールを定めて運営する。 ○照明は、コートの真上ではしゃ光されていなければならないし、いかなる発光体もあつてはならない。また、コートのバックバウンダリーライン上のいかなる位置から、反対側のバックバウンダリー上のいかなる位置を見通しても、その延長線上はすべてしゃ光されていなければならないし、いかなる発光体もあつてはならない。 ○プレーヤー及び観客などに試合の経過及びスコアが明確にわかるように、得点表示装置を置かなければならない。 〔(公財)日本バドミントン協会「競技規則」及び「大会運営規程」から抜粋〕 (配慮すべき事項) ○コートは、全面にコートマットを使用することが望ましい。 (先催県の事例)			

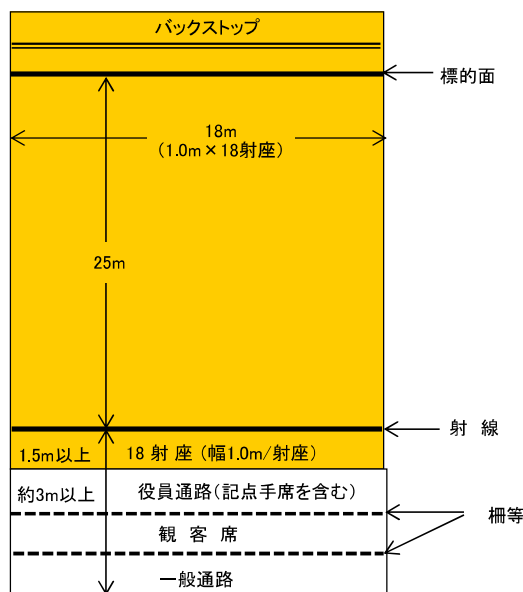
競技名	弓 道	競技番号	24
基準	規定の弓道場 1 遠的競技場 1(仮設でもよい。)	摘要	
基準の主な内容			
規定の弓道場は、次のとおり。 ○近的弓道場 ○遠的弓道場 ○射位における選手相互の間隔は、近的競技は180cm以上、遠的競技は160cm以上とする。 ただし、これによらない場合は、要項に明示するか、競技開始前に競技委員長が宣告する。 〔(公財)全日本弓道連盟「弓道競技規則」から抜粋〕 (配慮すべき事項) ○矢取道は、屋根があることが望ましい。 ○大的の上まで屋根があることが望ましい。【遠的】 (先催県の事例)			

競技名	ライフル射撃（その1）	競技番号	25
基準	規定のライフル射撃場（エア・ライフル26射座1、スモールボア・ライフル24射座1、ピストル18射座1、光線銃13射座の体育館1）	摘要	2会場地以上に分かれてもよい。 エア・ライフル、スモールボア・ライフルとも電子標的の装置とすることが望ましい。
基準の主な内容			
規定のライフル射撃場は、次のとおり。 （1）エア・ライフル射場（10m）  （2）スモールボア・ライフル射場（50m）  ※ 電子標的の利用を前提とし、(公社)日本ライフル射撃協会との協議により13射座での運用を確認済み。			

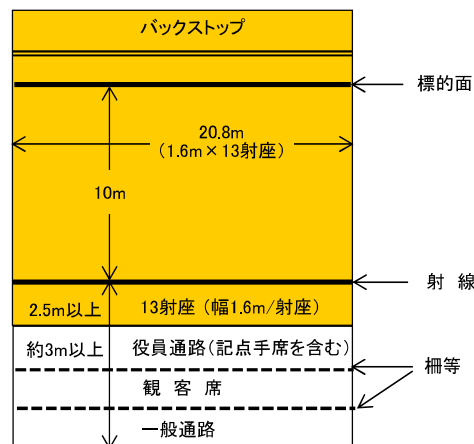
競技名	ライフル射撃（その2）	競技番号	25
-----	-------------	------	----

基準の主な内容

(3) ピistol射場(25m)



(4) ビーム・ライフル射撃場(10m)



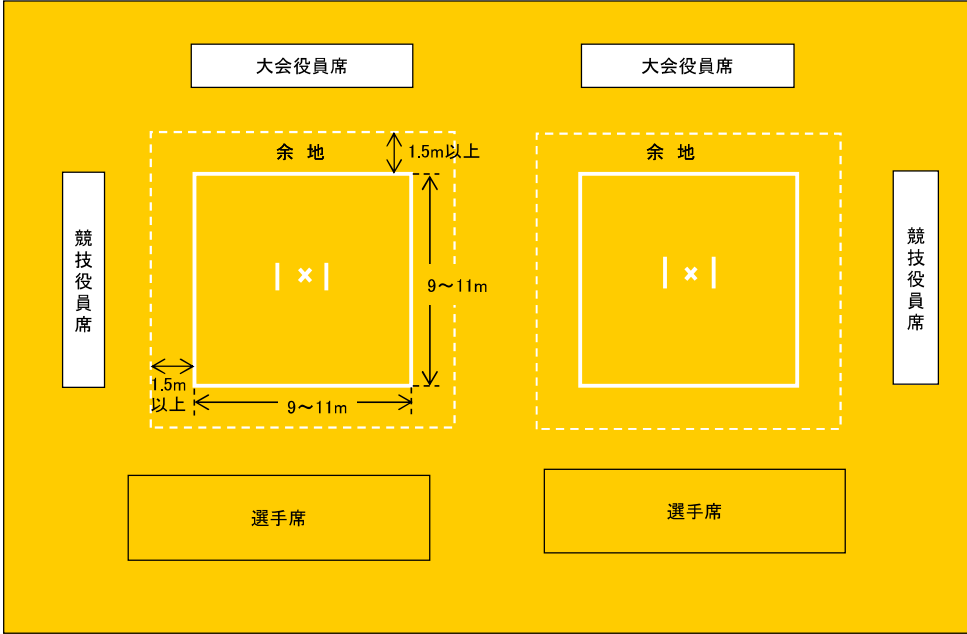
- 10m射場は、屋内でなければならない。
- ビーム・ライフル射撃は、屋内でなければならない。
- 各射場の射座の広さは、以下の基準とする。
 - ・ピistol射場以外・・・1.6m(幅)×2.5m(奥行)以上
 - ・ピistol射場・・・1.0m(幅)×1.5m(奥行)以上
- スモールボア・ライフル射場では、多数の射手が参加できるようにするため、隣接射手を妨げることなく標的交換ができる設備を設置することで、射座の幅を1.25mに縮小しても良い。
- エア・ライフル射場で3姿勢競技・伏射競技を実施する場合には、隣接射手を妨げることなく標的交換ができる設備を設置することで、射座の幅を1.25mに縮小しても良い。
- 各射座の後方は、原則として、以下に準じた設備が完備されているものとする。
 - ・記点手席を含む役員通路・・・約3m以上
 - ・観客席(階段式が望ましい)・・・約4m以上
 - ・一般通路(最上段が望ましい)・・・約3m以上
- 50台以上収容可能な駐車場(又はスペース)を具備しなければならない。
- 観客席は少なくとも射撃線の後方7m以上の位置に設置された適当な柵などによって射手や競技役員が活動する空間とは区別されなければならない。
- 標的面の最低照度は1000ルクスとする(ビームライフル射場は400～1000ルクス)。
- 射場全体の照度は500ルクス(推奨最小値)

〔(公社)日本ライフル射撃協会「ライフル射撃場の公認に関する規程」及び「ゼネラルテクニカルルール」から抜粋〕

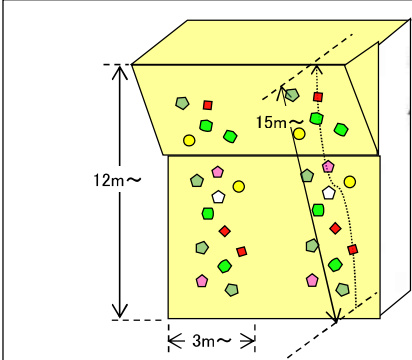
(配慮すべき事項)

(先催県の事例)

エア・ライフル 1射座当たり1.6m⇒1.4m ※電子標的機を設置
ピistol 18射座⇒17射座～14射座

競技名	剣道	競技番号	26
基準	規定の競技場2面を有する剣道場又は体育館1	摘要	
基準の主な内容			
規定の競技場は、次のとおり。  ○試合場の床は、板張を原則とする。 ○試合場は、境界線を含み一辺を9mないし11mの、正方形または長方形とする。 ○試合場の外側に原則として1.5m以上の余地を設ける。 〔(一財)全日本剣道連盟「剣道試合審判規則」及び「剣道試合審判細則規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	ラグビーフットボール	競技番号	27
基準	規定の競技場3面(うち芝生の競技場2面)	摘要	2会場地に分かれてもよい。
基準の主な内容			
規定の競技場は、次のとおり。			
○競技が行われるグラウンドの表面は安全でなければならない。 ○表面の種類として認められているのは、芝、土、砂、雪または人工芝(ワールドラグビー競技に関する規程第22条に従ったもの)である。 ○フィールドオブプレー(ゴールラインとタッチラインに囲まれた区域)は、長さ100mを越えず、幅70mを超えない。 ○両インゴール(トライライン、タッチインゴールライン及びデッドボールラインに囲まれた区域)とも、長さ22m、幅70mを越えない。 ○周辺区域は、可能な限り、幅が5メートル未満にならないようにする。 〔WORLD RUGBY「競技規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
○コートから障害物までの距離は、10m以上が望ましい。 ○すべての競技場は芝生とし、ゴールポストが設置可能とする。			
(先催県の事例)			

競技名	スポーツクライミング(その1)	競技番号	28
基準	(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会が適当と認めるリード施設およびボルダー施設	摘要	高さ12m以上、ルート長さ15m以上の幅3m以上のルートを同時に2本以上設定できるリード施設 高さ5m、面積60㎡のボルダー施設2基 1会場で実施
基準の主な内容			
競技場は、基本的には次のとおりとする。 1 リード競技 (1) ウォールは以下の仕様による。 ① ウォールは、ルートの長さで15m以上が設定できるもの、高さは12m以上を必要とする。 ② ルートの幅は、3m以上とする。 ③ ルートは、2ルート以上同時に設定可能な近似形態とする。 ④ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとする。 ⑤ ウォールの構造上あるいは立地上、オンサイト方式に抵触する可能性がある場合、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。 ⑥ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。 (2) アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。 ① 原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。 また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。 ② ウォームアップ用のウォール(原則として高さ3m、幅5m以上)を2面以上設けなければならない。 (3) ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン(原則として競技者8名以上を収容できる場所)を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。 (4) 審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。 (5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ及びストップウォッチをウォール面ごとに設置する。 (6) 残り時間を確認できるデジタル式大型時計を選手や観客から見えるように設置する。 (7) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国民スポーツ大会スポーツクライミング競技運営手引きによる。			
 ルートの長さは15m以上とする ルートの幅は3m以上とし、同時に2本以上を設定する			

競技名	スポーツクライミング(その2)	競技番号	28
-----	-----------------	------	----

基準の主な内容

2 ボルダー競技

(1) ウォールは、以下の仕様による。

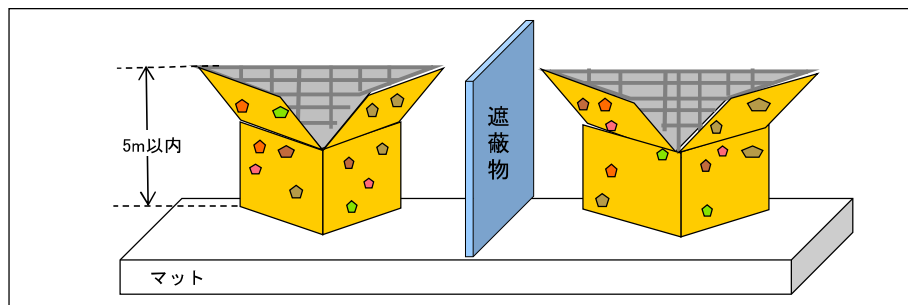
- ① ウォールの高さは、マット面から5m以内とする。
- ② ウォール数は、1基に2ルート以上とれる仕様のもので合計2基とする。
- ③ ウォールの壁面積は、1基あたり60㎡とする。
- ④ 観客席から見やすいようにウォールは壇上に設置されなければならない。
- ⑤ ウォール2基は、お互いのルート(プロブレム)が見えないように遮蔽などの対策を施すこと。
- ⑥ ウォールの傾斜は、最小を85度、最大を150度とし、かつ平均を約120度とする。
- ⑦ ウォールのパネルは、交換できなくてもよいが、立体的な構造が望ましい。
- ⑧ ウォール2基の間には、選手の休憩場所を設置し、休憩場所から競技が見えないようにすること。
- ⑨ ウォールの設置場所が室外の場合は、雨天対策を施すものとする。
- ⑩ 必要に応じて、ルート・セッターが設定したルートを隠すことができるカーテン等の装置を施すものとする。
- ⑪ 安全対策のため、ウォールの下には壁上部から選手が墜落した場合にも十分な安全が確保できるようなマットを設置するものとする。
- ⑫ ウォールの設置場所が室内の場合は、空調設置等で温度変化が少なくなるように留意する。

(2) アイソレーション・ゾーンは、以下の仕様による。

- ① アイソレーション・ゾーンは、原則として当日競技をする選手・監督を収容するスペースを有しなければならない。また、できるだけウォールに隣接して設置されることが望ましい。
- ② アイソレーション・ゾーンには、ウォームアップ用のウォール(原則として高さ3m、幅5m以上)を2面以上設けなければならない。

(3) ウォールに隣接して、ルートが見えない場所にコール・ゾーン(原則として競技者8名以上を収容できる場所)を設置しなければならない。また、競技者をアイソレーション・ゾーンから輸送するのに時間がかかる場合は、簡便なウォームアップ用ウォールを用意しなければならない。

- (4) 審判席は、ルートを見渡せる正面及び側面の位置に設置しなければならない。
- (5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ及びストップウォッチをウォール面ごとに設置する。
- (6) 残り時間を確認できるデジタル式大型時計を選手や観客から見えるように設置する。
- (7) 競技時間ごとに鳴るブザーを設置する。
- (8) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、国民スポーツ大会スポーツクライミング競技運営手引きによる。



〔(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会「国民スポーツ大会スポーツクライミング競技施設認定規則」及び「国民スポーツ大会スポーツクライミング競技施設設置基準」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- ボルダー競技とリード競技は隣接した施設を会場とする。
- ボルダー競技のウォール設置場所は、屋内とすることが望ましい。

(先催県の事例)

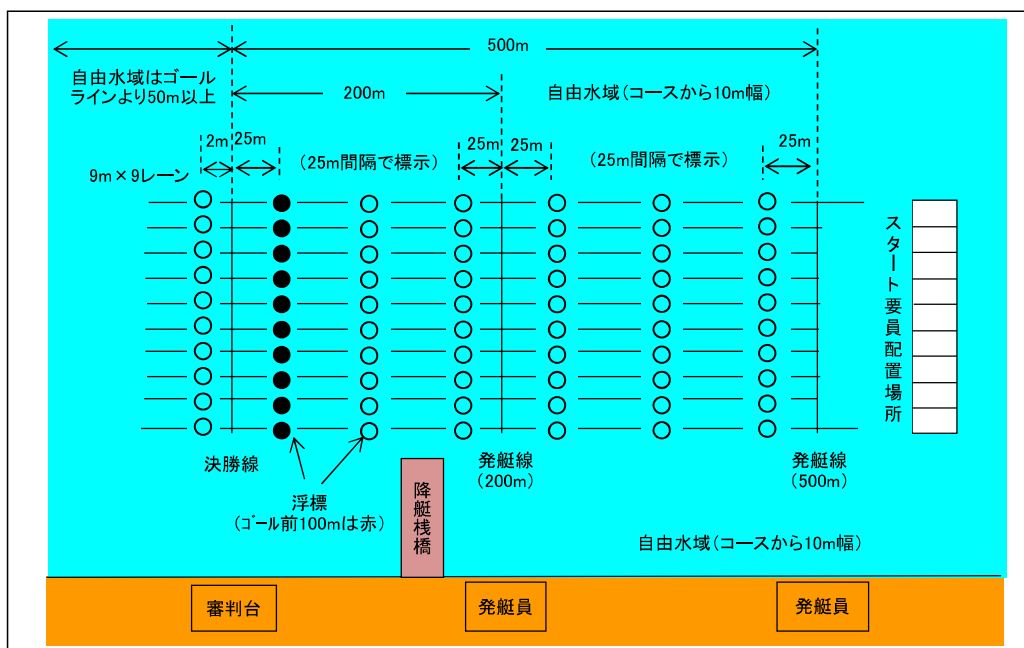
競技名		カヌー（その1）		競技番号	29
基準	1 カヌースプリント （公社）日本カヌー連盟が適当と認める幅101m以上を有する500m以上のコース1、艇庫1（艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい。） 2 カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター （公社）日本カヌー連盟が適当と認める河川1、艇庫1（艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい。）			摘要	2会場地以上に分かれてもよい。

基準の主な内容

コースは次のとおり。

(1) カヌースプリント

- 水路は、静水で長さ500m、レーン巾9m、9レーンとし、深さ1.5m以上で連盟が公認したもの。
- 水路は、25mごとに浮標によって標示する。
- 直線で一定方向とし、各レーンは平行であり、各レーンの幅は9m以上とする。
- 水深は、コース全域にわたり1.5m以上あることを原則とする。
- 最後の浮標は、白色角浮標を決勝線の2m先に設ける。
- 決勝線に向かって左端から第1レーンとする。
- 発艇線及び決勝線は、コースに直角でなければならない。
- 発艇は、自動発艇装置によるものとし、決勝判定は連盟が公認した写真判定システムによるものとする。

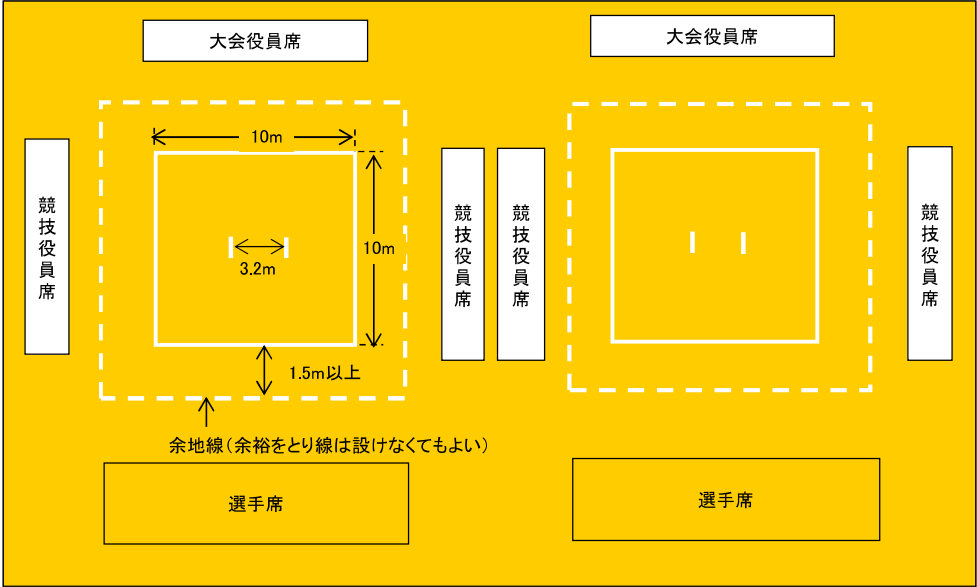


〔(公社)日本カヌー連盟「カヌースプリント競技規則」及び「国民スポーツ大会特別規則」から抜粋〕

競技名	カヌー（その2）	競技番号	29
基準の主な内容			
(2)カヌースラローム ○コースは150m以上400m以内で全般にわたり漕航可能な急流とし、連盟の公認したもの。 ○ゲート数は25ゲート及び15ゲートとする。 ○水量は3t/秒以上、流速は2m/秒以上とする。 ○発艇・決勝に、連盟が公認した電子判定システムを設置する。			
〔(公社)日本カヌー連盟「国民スポーツ大会特別規則」から抜粋〕			
(3)カヌーワイルドウォーター ○コースは全般にわたり漕航可能な急流とし、連盟の公認したもので1500mを基準とする。 ○水量は3t/秒以上、流速は2m/秒以上とする。 ○発艇・決勝に、連盟が公認した電子判定システムを設置する。 ○スプリント種目は、カヌースラロームコースを利用する。			
〔(公社)日本カヌー連盟「国民スポーツ大会特別規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○コースの設定では、環境面に配慮することやゲートなどのコース器具の設置ができること。			
(先催県の事例)			

競技名	アーチェリー	競技番号	30
基準	70mの射程距離を有する施設 1	摘要	
基準の主な内容			
競技場は、次のとおりとする。 ○ウエーティングラインは、シューティングラインの後方5m以上の位置に設置する。必要なときにはダブルウエーティングライン等を設置することができる。 ○観客の安全のため、競技場の周囲に適当なバリアを設ける。標的の後方の人の動き等によって、競技者の集中力を阻害することがないように注意しなければならない。 ○バリアは、90mのターゲットラインの左右の端から20m以上離れた位置に設置する。シューティングラインの端から10m以上離れた位置まで幅を減少して直線に設置してもよい。 ○標的の後方50mの距離は、矢止めとして効果的なネット、盛土または同様な設備等、適切な遮蔽物を標的の後方に設けることによって減少することができる。この遮蔽物は、標的の上を外れた矢を止めるのに十分な高さでなければならない。			
〔(公社)全日本アーチェリー連盟「競技規則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○競技場は水平に均されたフィールドで、方位は標的面が南向きになるように標的を北側に設置することを原則とする。 ○オリンピックラウンドおよびコンパウンドマッチラウンドでは、イリミネーションラウンドおよびファイナルラウンドの間、競技が進行している間に競技者が練習できるように、競技会場の近くに練習会場を併設する。			
(先催県の事例)			

競技名	空 手 道	競技番号	31
基準	規定の競技場4面を有する空手道場又は体育館 ¹	摘要	
基 準 の 主 な 内 容			
規定の競技場は、次のとおり。 ○競技場は、マット敷きで一辺が8m(外側から計算して)、安全域としての各辺2mを含む正方形でなければならない。 大会会場に2mのスペースがない場合、1.5mに減らすことができる。 ○競技場安全域外側周辺1m以内には、広告板、壁、柱等があってはならない。 ○使用するマットは、全空連承認のものであること。 〔(公財)全日本空手道連盟「空手競技規定」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例)			

競技名	銃 剣 道	競技番号	32
基準	規定の競技場2面を有する体育館 1	摘要	
基 準 の 主 な 内 容			
規定の競技場は、次のとおり。  ○試合場の床は板張りを原則とする。 ○試合場は区画線を含み1辺を10mの正方形を基準とする。 ○試合開始線は、試合場の中心点から左右それぞれ1.6mの均等の位置に表示するものとする。 ○試合場の外側に1.5m以上の余地を設けることを原則とする。 〔(公社)全日本銃剣道連盟「銃剣道試合・審判規則」及び「銃剣道試合・審判細則」から抜粋〕			
(配慮すべき事項)			
(先催県の事例) 規定の競技場2面⇒1面			

競技名	クレー射撃(その1)	競技番号	33
-----	------------	------	----

基準	規定の射場トラップ1面、スキート1面	摘要	
----	--------------------	----	--

基準の主な内容

規定の射場は、次のとおり。

【トラップ射場】

北又は北東

1

1.5m

2m

15m

7~10m

3~4m

3m

1.5m

1m

1m

約20m

2.3m

3~3.3m

放出機間隔

1~1.1m

45°

45°

90°

放出最大角度

トラップピット

入口

ワイヤーかロープまたは柵

射手通路

レフェリー、ブーラーの位置

No.1 射台

No.2

No.3

No.4

No.5

No.6

○トラップピットの内部寸法は、端から端までが約20m、前後幅が2m、そして床面から屋根下面までが2mから2.1mとしなければならない。

○トラップピットの前縁から15m後方の距離にある直線上に5つの射台が設置されなければならない。

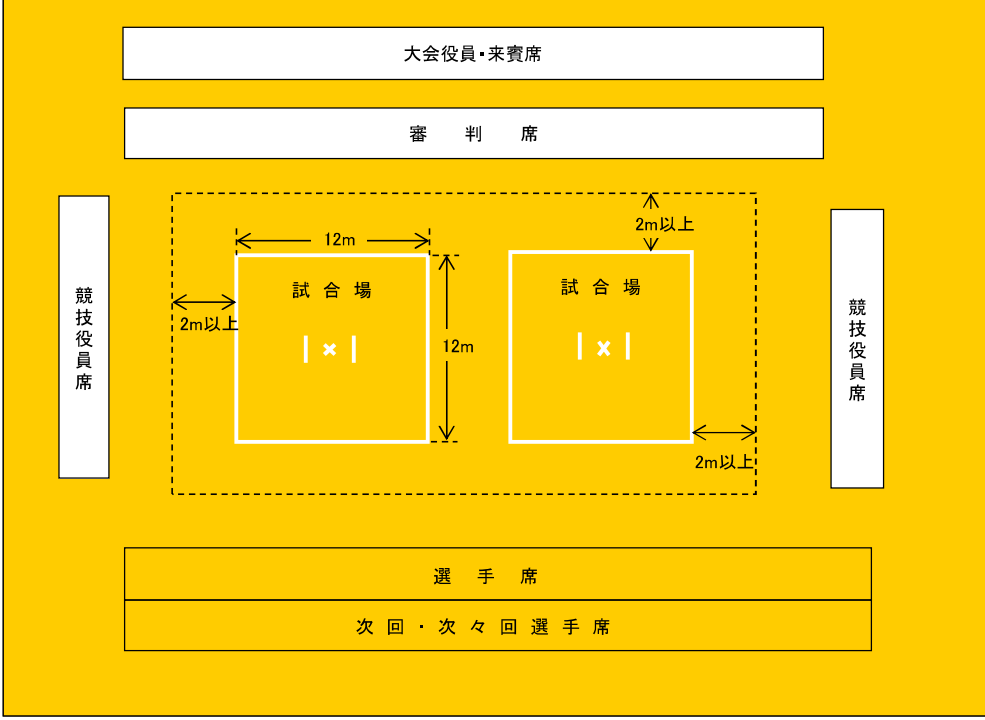
○射台の線の3mないし、4m後方には、射手が5番射台から6番の位置に移動するための通路を設けなければならない。

○通路の後ろ7mから10mのところにワイヤー、ロープ、或いは他の適当な柵を設置しなければならない。

○射台とレフェリーの立つ位置、及び操作員の場所は、日光、及び雨に対して適当な保護がなされていなければならない。

38

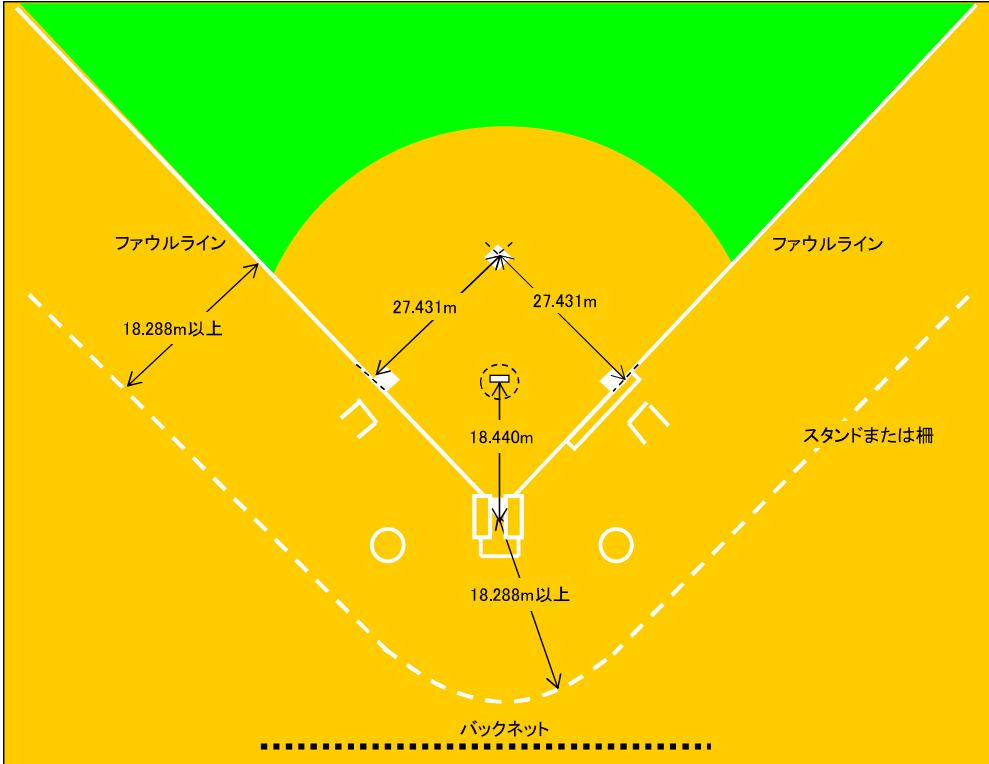
- 64 -

競技名	なぎなた	競技番号	34
基準	規定のコート2面を有する体育館又は武道館1	摘要	
基準の主な内容			
規定の競技場は、次のとおり。  ○試合場は区画線を含み12m四方の広さとする。 ○試合場の外側に2m以上の余地を有する。 ○各線は幅5cmの白線とし、長さは外側から測る。 〔(公財)全日本なぎなた連盟「なぎなた-競技規定-」から抜粋〕			
(配慮すべき事項) ○コートライン以外のラインをなくすことが望ましい。			
(先催県の事例)			

競技名	ボウリング		競技番号	35
基準	JBC公認競技場とし、競技場のレーン数に応じて、競技日数は以下のとおりとする。 ・1会場で40以上のレーンを有する場合は、競技日数は5日間以内とする。 ・1会場で34～38のレーンを有する場合は、競技日数は6日間以内とする。 ・2会場で、それぞれ32以下のレーンを有する場合は、競技日数は5日間以内とする。	摘要	2会場地に分かれてもよい。 使用ピンは、JBC認証ピンであること。	
基準の主な内容				
○（公財）JAPAN BOWLINGが定めている「ボウリング施設、設備及び競技用具の認証規格」による。				

競技名	ゴ ル フ		競技番号	36
基準	日本ゴルフ協会が開催を可能と認めた54ホール（3コース）の施設を有する競技場	摘要	2会場地以上に分かれてもよい。	
基 準 の 主 な 内 容				

競技名	ト ラ イ ア ス ロ ン		競技番号	37
基準	規定のコース(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)	摘要	スプリントディスタンス (スイム0.75km、バイク20km、ラン5km) でも可能とする。	
基 準 の 主 な 内 容				
○(公社)日本トライアスロン連合が適当と認めるコースとする。				

競技名	高 等 学 校 野 球（硬式、軟式）	競技番号	38
基準	規定の野球場3面	摘要	2会場地に分かれてもよい。
基 準 の 主 な 内 容			
規定の野球場は、次のとおり。  ○本塁からバックストップまでの距離、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはブレイの妨げになる施設までの距離は、18.288m以上を推奨する。 ○本塁よりフェアグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはブレイの妨げになる施設までの距離は76.199m以上を必要とするが、外野の両翼は、97.534m以上、中堅は121.918m以上あることが優先して望まれる。 〔日本野球規則委員会「公認野球規則」から抜粋〕			
（配慮すべき事項） ○ナイター照明があることが望ましい。 ○フェンス等はラバーを使用することが望ましい。			
（先催県の事例） 規定の野球場3面 ⇒ 硬式1面、軟式1面			

第84回国民スポーツ大会 競技施設基準暫定版の改正概要（案）

競技番号	競技名	改正後	改正前
1	陸上競技	【新設】 15,000人以上(芝生を含む)とする。メインスタンドは、少なくとも7,000人 以上 で屋根付きとする。 【既設】 15,000人以上(芝生を含む)とする。メインスタンドは、少なくとも7,000人 以上 で屋根付きとする。 1994年以前からの第1種競技場のメインスタンドの収容数は、スタンド改修時に対応することに努めるものとする。	【新設】 15,000人以上(芝生を含む)とする。メインスタンドは、少なくとも7,000人 程度 で屋根付きとする。 【既設】 15,000人以上(芝生を含む)とする。メインスタンドは、少なくとも7,000人 程度 で屋根付きとする。
2	水泳	1 競泳用50mプール【公認競泳プールのうち公称50m国内基準競泳プール】 ・幅 15.4m以上 ・水深 1.35m以上 ・レーン数・レーン幅 6レーン以上、レーン幅は1レーン2.50m	1 競泳用50mプール【公認競泳プールのうち公称50m国内基準競泳プール】 ・幅 25.0m以上 ・水深 2.0m以上以上が望ましい ・コース数・コース幅 コース幅は1コース2.50mで、10レーン以上が望ましい
4	テニス	[(公財)日本テニス協会「 国民スポーツ大会テニス競技会 の施設基準に関する細則」から抜粋]	[(公財)日本テニス協会「 国体テニス競技 の施設基準に関する細則」から抜粋]
5	ローイング	○国民 スポーツ 大会ローイング競技は、B級以上のコースで行う。 ○ フィニッシュライン の後方に、長さ100m以上の自由水域を設けなければならない。 ○コースの各レーンは互いに平行し、各レーンの幅は標準 12.5m 、最小限 12.0m 、最大限15mとする。 ○競漕レーンの外境と岸、その他固定構築物との間には、5m以上の 間隔(緩衝水域) を設けなければならない。	○国民 体育 大会ローイング競技は、B級以上のコースで行う。 ○ 決勝線 の後方に、長さ100m以上の自由水域を設けなければならない。 ○コースの各レーンは互いに平行し、各レーンの幅は標準 13.5m 、最小限 12.5m 、最大限15mとする。 ○競漕レーンの外境と岸、その他固定構築物との間には、5m以上の 自由水域 を設けなければならない。
6	ホッケー	○ランオフエリア内側はプレイフィールドの表面と同質素材で、その範囲はバックライン側が最小3m、サイドライン側が最小2mとする。それ以外の材質でもよいが、その外側(ランオフエリア外側)に試合運営のために最小1mのエリアを確保すること。これはあくまで必要最小限であって、バックライン側は内側3m＋外側2m、サイドライン側は内側2m＋外側2mを強く推奨する。 [(公社)日本ホッケー協会「国民 スポーツ 大会ホッケー競技場施設基準(第4条)」から抜粋]	○競技場の表面と同質素材の範囲は、外のスペースにバックライン側は少なくとも2m、サイドライン側は少なくとも1mとし、さらに外側にはそれ以外の材質でもよいが、1m(四方)のエリアをとっておかなければならない。 ○バックライン側は3mプラス2m(5m)、サイドライン側は2mプラス1m(3m)の空間をとることを勧める。 [(公社)日本ホッケー協会「国民 体育 大会ホッケー競技施設基準(第4条)」から抜粋]
7	ボクシング	(1) 日本連盟公認リングを使用しなければならない。 リングには3つの階段を備え付けること。その内の2つは競技者とセカンドが使用する赤・青コーナーに取り付け、残りの1つは DTD 側ニュートラルコーナーに取り付け、レフリーとリングドクターが使用する。 ※ DTD：デピュティーテクニカルデリゲート [(公社)日本ボクシング連盟 競技規則 」から抜粋]	(記載なし) リングには3つの階段を備え付けること。その内の2つは競技者とセカンドが使用する赤・青コーナーに取り付け、残りの1つは DS 側ニュートラルコーナーに取り付け、レフリーとリングドクターが使用する。 ※ DS：ディプティスーパバイザー [(一社)日本ボクシング連盟「 日本ボクシング連盟競技規則 」から抜粋]
8	バレーボール	○コートは18m×9mの長方形で、最小限3mの幅のフリーゾーンで囲まれている。	○(公財)日本バレーボール協会主催の競技会では、フリー・ゾーンは最小限サイド・ラインから5m、エンド・ラインから6.5mなければならない。
9	体操	規定の各器具を設置することができる体育館は次のとおり。 【体操競技】 ○競技場の広さ 2000㎡以上 ○競技場の高さ 12m以上 ○空調設備 選手に競技しやすい環境を提供できるよう冷暖房を完備していること	競技場は次のとおりとする。 ○体操競技 ・器械・器具は、(公財)日本体操協会の「器械・器具検定規定」に基づく、体操競技用検定品とする。
12	セーリング	[(公財)日本セーリング連盟「 2021-2024 セーリング競技規則」抜粋]	[(公財)日本セーリング連盟「 2013-2016 セーリング競技規則」抜粋]
13	ウエイトリフティング	② 規定 のプラットフォーム2面を設置することができる施設 1 ○ステージの大きさは最低10m×10mとし、レフリー席およびジュリー席の床面からプラットフォーム表面 までの高さは最大 80cm とする。	② 既定 のプラットフォーム2面を設置することができる施設 1 ○ステージの大きさは最低10m×10mとし、レフリー席およびジュリー席の床面からプラットフォーム表面 までの高さは最大 1m とする。
14	ハンドボール	○コートの周囲には、サイドラインに沿って幅1m以上、 ゴールライン の後方に幅2m以上の安全地帯を設けなければならない。	○コートの周囲には、サイドラインに沿って幅1m以上、 アウターゴールライン の後方に幅2m以上の安全地帯を設けなければならない。
15	自転車	⑦競走路の標示線 競走路の内縁から内側を最少走路の10%幅でブルーに塗り、これを ブルーバンド と称する。 ブルーバンドは、トラックの走行面には含まれない。 [(公財)日本自転車競技連盟「競技規則 付表 2-5 ：自転車競技場および施設に関する基準要項」から抜粋] ○国民 スポーツ 大会のロード・コースは、1周10km～15kmの周回コースであることを原則とする。 [(公財)日本自転車競技連盟「競技規則 付表 2-5 ：ロードレースのコースに関する基準要項」から抜粋]	⑦競走路の標示線 競走路の内縁から内側を最少走路の10%幅でブルーに塗り、これを ブルー・バンド と称する。 ブルー・バンドは競走には用いない。 [(公財)日本自転車競技連盟「競技規則 付表 5-1 ：自転車競技場および施設に関する基準要項」から抜粋] ○国民 体育 大会のロード・コースは、1周10km～15kmの周回コースであることを原則とする。 [(公財)日本自転車競技連盟「競技規則 付表 5-2 ：ロードレースのコースに関する基準要項」から抜粋]

競技番号	競技名	改正後	改正前
16	ソフトテニス	○アウトコートはコートの周囲のスペースで、ベースラインから後方に 6.4m 以上、サイドラインからは外側に 5m 以上であることを原則とする。 ○コート及びアウトコートの サーフェイス は、アウトドアではクレー、 人工クレイ 、砂入り人工芝又は全天候型等とし、インドアでは、 木板、人工クレイ 、砂入り人工芝、硬質ラバー又は全天候型等とする。	○アウトコートはコートの周囲のスペースで、ベースラインから後方に 8m 以上、サイドラインから外側に 6m 以上であることを原則とする。 ○コート及びアウトコートの サーフェス は、アウトドアではクレー、砂入り人工芝又は全天候型 ケミカル 等とし、インドアでは 木版 、砂入り人工芝、硬質ラバー、 ケミカル 等とする。
17	卓球	○プレーイングサーフェスの高さで計った照度は、プレーイングサーフェス全面にわたって 1,000 ルクス 以上、競技領域のその他の部分における照度は500 ルクス 以上でなければならない。	○プレーイングサーフェスの高さで計った照度は、プレーイングサーフェス全面にわたって 1,000 ルクス 以上、競技領域のその他の部分における照度は500 ルクス 以上でなければならない。
18	軟式野球	○本塁からバックストップまでの距離、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはプレイの妨げになる施設までの距離は、18.288m以上を 推奨する 。	○本塁からバックストップまでの距離、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはプレイの妨げになる施設までの距離は、18.288m以上を 必要とする 。
20→(削除)	馬術	(削除)	(記載省略)
21→20	フェンシング	○ピストの幅は、 1.5m である。	○ピストの幅は、 1.5mから2m である。
23→22	ソフトボール	○フェア地域は、両ファウルラインと、本塁(ホームプレート)から、 男子68.58m以上、女子60.96m以上 の半径の円弧に囲まれた地域である。 ○国際規格変更に(2002年)に伴い、本塁から外野フェンスまでの距離が、 男子76.20m以上、女子67.06m以上 が望ましい。	○フェア地域は、両ファウルラインと、本塁(ホームプレート)から、 少年男子68.58m以上、少年女子60.96m以上 の半径の円弧に囲まれた地域である。 ○国際規格変更に(2002年)に伴い、本塁から外野フェンスまでの距離が、 成年男子76.20m以上、成年女子67.06m以上 が望ましい。
26→25	ライフル射撃	(2)スモールボア・ライフル射場(50m) ※ 電子標的の利用を前提とし、(公社)日本ライフル射撃協会との協議により13射座での運用を確認済み。 ○観客席は少なくとも射撃線の後方 7m 以上の位置に設置された適当な柵などによって射手や競技役員の活動する空間とは区別されなければならない。 ○射場全体の照度は 500ルクス(推奨最小値)	(2)スモールボア・ライフル射場(50m) ○観客席は少なくとも射撃線の後方 5m 以上の位置に設置された適当な柵などによって射手や競技役員 の活動する空間とは区別されなければならない。 ○射場全体の照度は 300ルクス(500ルクス推奨)
28→27	ラグビーフットボール	○競技が行われるグラウンドの表面は安全でなければならない。 ○表面の種類として認められているのは、芝、土、砂、雪または人工芝(ワールドラグビー競技に関する規程第22条に従ったもの)である。 (削除) ○周辺区域は、可能な限り、幅が5メートル未満にならないようにする。 [WORLD RUGBY「競技規則」から抜粋]	(記載なし) (記載なし) ○ゴールラインとデッドボールラインとの距離は、実際に可能であれば少なくとも10m以上とる。 (記載なし) [(公財)日本ラグビーフットボール協会「競技規則」から抜粋]
29→28	スポーツクライミング	(5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ及びストップウォッチを ウォール面ごとに 設置する。 (6) 残り時間を確認できるデジタル式大型時計を選手や観客から見えるように設置する。 (7) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、 国民スポーツ大会スポーツクライミング競技運営手引き による。	(5) 審判用器具としてビデオカメラ、モニターテレビ、ストップウォッチ及び 観客・選手用大型時計(モニター) を設置する。 (6) その他のウォール及び審判に係る施設、器具の詳細は、 国体山岳競技運営の手引き による。
30→29	カヌー	○直線で一定方向とし、各レーンは平行であり、各レーンの幅は9m以上とする。 ○最後の浮標は、白色角浮標を決勝線の2m先に設ける。	○レーンは、直線でなければならない。 ○レーンの幅は、9mとする。レーン外境及び各レーン境界は浮標で標示せねばならない。
31→30	アーチェリー	○ウエイティングラインは、シューティングラインの後方5m以上の位置に設置する。必要ときには ダブルウエイティングライン等 を設置することができる。	○ウエイティングラインは、シューティングラインの 5m以上後方の位置 に設ける。
32→31	空手道	○競技場は、マット敷きで一辺が8m(外側から計算して)、安全域としての各辺2mを含む正方形でなければならない。 大会会場に2mのスペースがない場合、1.5mに減らすことができる。	○競技場は、マット敷きで一辺が8m(外側から計算して)、安全域としての各辺2mを含む正方形でなければならない。 まわりに2mの安全域を設けなければならない。
34→33	クレー射撃	(スキート射撃場 図)標的飛距離 67m～69m	(スキート射撃場 図)標的飛距離 65m～67m
36→35	ボウリング	○(公財)JAPAN BOWLINGが定めている「 ボウリング施設、設備及び競技用具の認証規格 」による。	○(公財)全日本ボウリング協会(JBC)が定めている「 ボウリング施設、整備、用具認証規定 」及び「 ボウリング施設、整備、用具の規格 」による。
37→36	ゴルフ	(配慮すべき事項) ○練習場があること。(打撃練習場については、距離250ヤード以上、20打席以上が望ましい。) [(公財)日本ゴルフ協会「国民スポーツ大会ゴルフ競技開催ゴルフ場の選定についての留意事項」から抜粋]	(配慮すべき事項) ○(公財)日本ゴルフ協会のコースレーティングを有するゴルフ場が望ましい。 ○距離 男子6,600～7,000ヤードを目途とすることが望ましい。 女子6,200～6,400ヤードを目途とすることが望ましい。 ○練習場(打撃、バットイング、アプローチ、バンカー)を有することが望ましい。 ○成年男子・女子・少年男子の3種別を単位として、最大3会場地とする。
39→38	高等学校野球(硬式、軟式)	○本塁からバックストップまでの距離、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはプレイの妨げになる施設までの距離は、18.288m以上を 推奨する 。	○本塁からバックストップまでの距離、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはプレイの妨げになる施設までの距離は、18.288m以上を 必要とする 。

※馬術競技の削除に伴う競技番号変更のみの改正競技は、記載省略。

第84回国民スポーツ大会 競技施設整備計画【第2次】(案)

1 趣旨

第84回国民スポーツ大会の競技施設整備を計画的かつ円滑に推進するため、同大会会場地市町村選定基準および競技施設基準、中央競技団体正規視察の結果を踏まえ、会場地市町村との協議を基に、全体的な整備計画を策定するもの。

2 施設整備区分一覧(令和8年4月末現在)

整備区分 整備主体		新設	改修	仮設	既設	検討中	計
県内	県	0	12 (11)	0 (3)	3 (1)	0	15
	市町村	2 (1)	39 (35)	9 (8)	5 (10)	0 (1)	55
	民間	1	1	0	0	0	2
	小計	3 (2)	52 (47)	9 (11)	8 (11)	0 (1)	72
県外		0	0	0	5	0	5
計		3 (2)	52 (47)	9 (11)	13 (16)	0 (1)	77

※()は【第1次】の施設数(変動がないものは省略)

3 用語等の説明

(1) 整備区分は次のとおりとする。

ア 「新設」は、新たに常設の競技施設を整備するものをいう。

イ 「改修」は、既存の競技施設を改修するもの(通常の維持修繕を行うものを除く。)をいう。

ウ 「仮設」は、国スポ開催に合わせて臨時的に競技施設を整備するものをいう。

エ 「既設」は、既存の競技施設をそのまま使用するもの(通常の維持修繕を行うものを含む。)をいう。

オ 「検討中」は、整備区分を検討中のものをいう。

(2) 施設の概要は、新設は整備後の数値、改修および既設は現状の数値、仮設は競技施設基準の数値を記載した。

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場地 市町村	競技名・種目		種別	競技施設名	施設の概要					整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)							付帯施設等	
					構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)					観客席数 (固定席)	R6	R7	R8	R9	R10	R11		R12
松江市	水泳	競泳	全種別	島根県立水泳プー ル	RC造	50mプール（10レーン）			-	983	県	改修	・ プールタイル張替 ・ 設備機器更新 ・ システム更新	R8-R9	-	-	○	○	-	-	-	医務室、放送室、会 議室、更衣室、トイ レ、観客席
		飛込プール				486	県	改修		-	-	○			○	-	-	-				
		AS	少年女子			50mプール（10レーン）				983	県	改修			-	-	○	○	-	-	-	
	テニス		少年男子 少年女子	松江市営庭球場	砂入り 人工芝	-	-	16	東259 西174	2,800	市	改修	・ 芝の張替 ・ 照明のLED化 ・ 審判台の修復 ・ コート壁面塗装	R8-R9	-	-	○	○	-	-	-	ナイター、クラブハ ウス（事務室、更衣 室、トイレ、シャ ワー室等）
	ボクシング		成年男子 成年女子 少年男子	くにびきメッセ	SRC造	89.66	44.07	2	2,000	-	県	既設		検討中	-	-	-	-	-	-	-	事務室、倉庫、トイ レ、会議室
	バレーボール (6人制)	少年男子 少年女子	松江市総合体育館	RC造 一部S造	メイン：67×41 サブ：41×34		4	1,500	1,845	市	既設										サブアリーナ、多目 的ルーム、会議室、 控室、トレーニング ルーム	
		成年女子	鹿島総合体育館	RC造	53.4	37.4	3	800	1,088	市	改修	・ 床の研磨 ・ 空調整備 ・ 照明のLED化 ・ 天井改修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	サブアリーナ、温水 プール、トレーニン グ室、スタジオ、会 議室、控室、更衣室	
	体操	新体操	少年男子 少年女子	松江市総合体育館	RC造 一部S造	メイン：67×41 サブ：41×34		2	1,500	1,845	市	既設									サブアリーナ、多目 的ルーム、会議室、 控室、トレーニング ルーム	
	バスケット ボール	全種別		松江市総合体育館	RC造 一部S造	メイン：67×41 サブ：41×34		4	1,500	1,845	市	既設									サブアリーナ、多目 的ルーム、会議室、 控室、トレーニング ルーム	
				鹿島総合体育館	RC造	53.4	37.4	2	800	1,088	市	改修	・ 床の研磨 ・ 空調整備 ・ 照明のLED化 ・ 天井改修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	サブアリーナ、温水 プール、トレーニン グ室、スタジオ、会 議室、控室、更衣室
	ハンドボール	全種別		松江市総合体育館	RC、鉄 骨造	メイン：67×41 サブ：41×34		1	1,500	1,845	市	既設									サブアリーナ、多目 的ルーム、会議室、 控室、トレーニング ルーム	
				島根県立松江商業 高校体育館	RC造	45	33	1	900	-	県	改修	・ 床補修 ・ 共用部照明LED化	R10	-	-	-	-	○	-	-	柔道場、剣道場、倉 庫、更衣室、トイ レ、ステージ、ギャ ラリー
	ソフトテニス		全種別	松江市営庭球場	砂入り 人工芝	-	-	16	東259 西174	2,800	市	改修	・ 芝の張替 ・ 照明のLED化 ・ 審判台の修復 ・ コート壁面塗装	R8-R9	-	-	○	○	-	-	-	ナイター、クラブハ ウス（事務室、更衣 室、トイレ、シャ ワー室等）

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場地 市町村	競技名・種目	種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
松江市	卓球	全種別	鹿島総合体育館	RC造	53.4	37.4	14	800	1,088	市	改修	・床の研磨 ・空調整備 ・照明のLED化 ・天井改修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	サブアリーナ、温水 プール、トレーニン グ室、スタジオ、会 議室、控室、更衣室	
	バドミントン	全種別	鹿島総合体育館	RC造	53.4	37.4	10	800	1,088	市	改修	・床の研磨 ・空調整備 ・照明のLED化 ・天井改修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	サブアリーナ、温水 プール、トレーニン グ室、スタジオ、会 議室、控室、更衣室	
	ライ フ ル 射 撃	CP	成年男子	島根県警察学校射 撃場	S造	24	47	18	100～ 400	72	国、県	既設	・検討中	検討中	-	-	-	-	-	-	観覧席、会議室、ト イレ、倉庫	
		BR BP	少年男子 少年女子	八雲構造改善セン ター	鉄骨造	24.5	32.3	13	500	-	市	既設										
		50m 10m: AR AP	全種別	島根県ライフル射 撃場	S造	8.2	25.3	50m:13 10m:仮設	-	-	民間、 市	改修 仮設	・検討中	検討中	-	-	-	-	-	-	事務室、倉庫、トイ レ	
高等学校野球 (軟式)			松江市営野球場	天然芝	中堅： 120	両翼： 92	1	1,200	1,851	市	改修	・ラバーフェンスの 改修 ・溝蓋等のラバー改 修 ・ファールゾーン土 整備 ・外野フェンスの補 修 ・芝と土の境界整備 ・ナイター照明LED化 ・空調設備 ・建具更新 ・本部席床改修 ・アコーディオン型 の壁設置 ・ダッグアウト内整 備	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	更衣室、研修室等	

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場地 市町村	競技名・種目	種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
浜田市	サッカー	成年女子 少年男子 少年女子	浜田市陸上競技場	天然芝	100	68	1	-	1,000	市	改修	・芝張替 ・ピッチエリア確保 ・スタンド改修 ・スロープ改修 ・室内トイレ改修	R8・R10	-	-	○	-	○	-	-	役員室、審判室、放送室、医務室、更衣室、便所、身障者便所	
			サン・ビレッジ浜田スポーツ広場	人工芝	105	68	1	634	200	市	改修	・人工芝張替 ・フェンス整備 ・点字ブロック改修 ・屋外トイレ新設	R8・R9	-	-	○	○	-	-	-	役員室、審判室、医務室、更衣室、便所、身障者便所、シャワー室	
			浜田市三隅中央公園陸上競技場	天然芝	105	68	1	-	722	市	改修	・芝改修 ・ピッチエリア確保 ・縁石改修 ・人工芝敷設 ・散水口等の安全対策 ・室内トイレ改修	R8・R9	-	-	○	○	-	-	-	役員室、医務室、便所	
	バレーボール (ビーチ)		少年男子 少年女子	島根県立石見海浜公園	検討中				-	-	市	仮設	・検討中	検討中	-	-	-	-	-	-	-	
	体操	競技	全種別	島根県立体育館	RC造	45.4	40	-	871	1,488	県	改修	・施設劣化部修繕	R6-R8	○	○	○	-	-	-	-	観客席、更衣室、トイレ、多目的ルーム、器具庫、会議室
		トランポリン	男子 女子																			
	軟式野球	成年男子	浜田市野球場	天然芝	中堅：120	両翼：90	1	-	1,600	市	改修	・ラバー敷設 ・バックネット整備 ・内野改修 ・外野改修 ・シャワー室改修 ・屋内トイレ改修	R8・R9	-	-	○	○	-	-	-	役員室、審判室、放送室、医務室、記者室、更衣室、便所、身障者便所、スコアボード	
			浜田市三隅中央公園市民野球場	天然芝	中堅：110	両翼：87	1	-	500	市	改修	・ラバー敷設 ・バックネット整備 ・ファールポールの刷新 ・外野フェンス整備 ・ウォーニングゾーン整備 ・内野改修 ・外野改修 ・スタンド改修 ・屋外トイレ改修	R8・R10	-	-	○	-	○	-	-	役員室、放送室、医務室、スコアボード	
ゴルフ	成年男子	金城カントリークラブ																				

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場地 市町村	競技名・種目	種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
出雲市	陸上競技	全種別	島根県立浜山公園 陸上競技場	ウレタ ン舗装 天然芝	日本陸上競技連盟第1種公 認 陸上競技場1周400m			-	-	県	改修	・走路改修 ・メインスタンド改 修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	会議室、役員控室、 審判室、放送室、記 録室、更衣室、器具 庫、倉庫、トイレ、 医務室、雨天走路、 アナウンス室	
	ウエイトリフ ティング	成年男子 少年男子 女子	島根県立出雲農林 高校体育館	S造	40	32	1	500以上	-	県	改修	・体育館内部改修 ・ウエイトリフティ ング場屋根改修	R9	-	-	-	○	-	-	-	観覧席、更衣室、ト イレ、倉庫	
	自転車 (トラック・ レース)	男子A 男子B 女子	島根県自転車競技 場（仮称）	検討中						民間	新設	・検討中	R9-R10	-	-	-	○	○	-	-		
	柔道	成年男子 少年男子 女子	島根県立浜山公園 体育館（カミア リーナ）	RC造	63.4	40	-	1,000	1,484	県	既設			-	-	-	-	-	-	-	観覧席、更衣室、ト イレ、倉庫、サブア リーナ	
	ソフトボール	全種別	愛宕山野球場	天然芝	91	120	1	-	850	市	改修	・芝生改修	検討中	-	-	-	-	-	-	-	-	本部席
			斐川公園野球場	天然芝	90	120	1	-	300	市	改修	・芝生改修	R10	-	-	-	-	○	-	-	-	本部席
			出雲健康公園出雲 ドーム	人工芝	90	100	1	500	2,500	市	改修	・照明改修 ・音響設備改修 ・漏水箇所修繕 ・電光掲示板更新	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	-	本部席
			湖陵総合公園野球 場	天然芝	90	115	1	500	150	市	改修	・芝生改修	R9	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	剣道	全種別	出雲だんだんとま とアリーナ（出雲 市総合体育館）	鉄骨造	50	40	2	1,500	1,004	市	改修			-	-	-	-	-	-	-	-	サブアリーナ、多目 的室、会議室、医務 室、更衣室、シャ ワー室、授乳室、 キッズコーナー
	なぎなた	成年女子 少年女子	出雲だんだんとま とアリーナ（出雲 市総合体育館）	鉄骨造	50	40	2	1,500	1,004	市	改修			-	-	-	-	-	-	-	-	サブアリーナ、多目 的室、会議室、医務 室、更衣室、シャ ワー室、授乳室、 キッズコーナー
	ゴルフ	女子	いづも大社カント リークラブ																			
		少年男子	島根ゴルフ倶楽部																			
	高等学校野球 （硬式）		島根県立浜山公園 野球場	土、天 然芝	中堅：120 両翼：91		1	-	2,744	県	改修	・グラウンド拡張 ・ブルペン整備	R6-R7	○	○	-	-	-	-	-	-	会議室、放送室、記 録室、本部席、更衣 室、トイレ、倉庫、 キーパー室、素振室
	アーチェリー	全種別	グリーンステップ 特設会場	検討中						市	仮設	・仮設整備	検討中	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場 地 市町村	競技名・種目		種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
					構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
益田市	水泳	OWS	男子 女子	高津川河口特設会場	オープンウォータースイム5.0km				-		市	仮設	・検討中	検討中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	サッカー	成年女子 少年男子 少年女子	島根県立サッカー場	天然芝	105	68	1	300	6,000	県	改修	・芝改修 ・照明更新 ・得点表示板更新	R8-R9	-	-	○	○	-	-	-	-	観覧席、トイレ、 倉庫、会議室、事務 室、更衣室、医務室	
			益田運動公園益田 陸上競技場	天然芝	105	68	1	-	5,000	市	改修	・芝改修	R9	-	-	-	○	-	-	-	トイレ、更衣室 (シャワー設備)、 会議室		
			ひだまりパークみと スポーツ交流広場 サッカー場	天然芝	105	68	1	300	1,300	市	改修	・芝改修	R9	-	-	-	○	-	-	-	トイレ、さくらド ーム		
	自転車 (ロード・レー ス)	成年男子 少年男子 女子	益田市自転車ロー ドレース特設会場	周回コース 1周14.5km				-		市	仮設	・検討中	検討中	-	-	-	-	-	-	-	-		
	軟式野球	成年男子	益田市民球場	土、天 然芝	中堅：120 両翼：90		1	-	3,100	市	改修	・ダッグアウト床等 ラバー敷設 ・グラウンド不陸整 備 ・外野フェンス上部 塗装 ・バックネット下部 段差解消	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	-	トイレ、本部、放送 室等	
大田市	弓道	全種別	島根県立大田高校 弓道場、グラウン ド	S造	28	23	近的：6 遠的：仮設	-	-	県 市	改修 仮設	・施設劣化部修繕 ・仮設整備	R9 R12	-	-	-	○	-	-	○	○	控室、倉庫、トイレ	
	空手道	全種別	大田総合体育館	RC造、 S造	45	35	4	1,645	878	市	改修	・アリーナ空調設置 ・トイレ改修（洋式 化等） ・送風機室設備更新	R8	-	-	○	-	-	-	-	-	柔道場、剣道場、卓 球場、トレーニング ルーム、研修室 (1F)、研修室 (2F)、トイレ	
	銃剣道	成年男子 少年男子	大田総合体育館	RC造、 S造	45	35	1	1,645	878	市	改修	・アリーナ空調設置 ・トイレ改修（洋式 化等） ・送風機室設備更新	R8	-	-	○	-	-	-	-	-	柔道場、剣道場、卓 球場、トレーニング ルーム、研修室 (1F)、研修室 (2F)、トイレ	

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場 地 市町村	競技名・種目		種別	競技施設名	施設の概要					整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
					構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)					観客席数 (固定席)	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
安来市	テニス		成年男子 成年女子	安来運動公園庭球場	砂入り人工芝	71	90	8	770	400	市	改修	・人工芝張替え ・クラブハウス改修 ・トイレ改修 ・シャワー改修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	砂入り人工芝コート、夜間照明、更衣室、クラブハウス、メインスタンド
	バレーボール (6人制)		成年男子	安来市民体育館	RC造、S造	45	30	2	1,630	1,000	市	改修	・床修繕 ・空調改修 ・照明LED化 ・トイレ改修（洋式化）	R8-R11	-	-	○	○	○	○	-	各技場、研修室、小会議室
	フェンシング		全種別	安来市民体育館	RC造、S造	45	30	8	1,630	1,000	市	改修	・床修繕 ・空調改修 ・照明LED化 ・トイレ改修（洋式化）	R8-R11	-	-	○	○	○	○	-	各技場、研修室、小会議室
江津市	水泳	水球	全種別	江津中央公園江津市民プール	コンクリート造	縦50m 横25m 浅部1.25m 深部2.2m			250	市	改修	・多目的トイレ設置 ・トイレ様式化 ・ろ過設備改修 ・プールサイド床改修	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	更衣室、シャワー室、トイレ、徒歩プール	
	ラグビーフットボール		全種別	江津市中央公園多目的広場	真砂	110	70	1	-	-	市	改修	・人工芝改修 ・器具庫設置 ・フェンス設置	R8-R10	-	-	○	○	○	-	-	トイレ
				浜田市陸上競技場	天然芝	100	68	1	-	1,000	市	改修	・埋設管及びターフトレイ設置	R8-R9	-	-	○	○	-	-	-	トイレ
雲南市	レスリング		全種別	雲南市三刀屋文化体育館アスパル	RC造	35.2	33.85	4	-	436	市	改修	・照明改修 ・空調改修	R7-R9	-	○	○	○	-	-	-	ステージ・小ホール・音楽音楽室・会議室・和室・控室・シャワー室・ピロティ
	ソフトボール		少年男子 少年女子	大東公園野球場	天然芝	90	115	1	-	380	市	改修	・グラウンド整備 ・バックネット改修	R8・R10	-	-	○	-	○	-	-	本部席
				加茂中央公園野球場	天然芝	92	118	1	-	294	市	改修	・グラウンド整備 ・バックネット改修 ・キュービクル改修	R6-R10	○	○	○	○	○	-	-	本部席
				加茂中央公園多目的広場	土	74	131	1	-	30	市	改修	・グラウンド整備 ・バックネット改修	R9-R10	-	-	-	○	○	-	-	本部席
雲南市 奥出雲町	ローイング		全種別	島根県さくらおろち湖ポート競技施設	コース長1,000m、5レーン			-	-	県	改修	・検討中	検討中	-	-	-	-	-	-	-	-	

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場地 市町村	競技名・種目	種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
奥出雲町	ホッケー	全種別	三成公園ホッケー場	人工芝	121	80	1	759	300	町	改修	・人工芝張替え ・観客席改修 ・照明LED化	R7-R9	-	○	○	○	-	-	-	トイレ	
			島根県立横田高校ホッケー場	人工芝	91.4	55.0	1	-	-	県	改修	・人工芝張替え ・フェンス改修	R9	-	-	-	○	-	-	-	トイレ	
飯南町	ソフトボール	全種別	頓原町民野球場	土	121.5	91.5	1	591	310	町	改修	・土入れ替え ・防球フェンス設置 ・トイレ設置 ・照明設備の角度調整	R8-R12	-	-	○	○	-	-	○	会議室、更衣室、倉庫、トイレ	
川本町	軟式野球	成年男子	川本町民球場	土、天然芝	中堅：121 両翼：91		1	内野620 外野330	-	町	改修	・フェンスラバー敷設 ・フィールド修繕整地 ・本部席改修 ・バックネット改修 ・スコアボード改修 ・ファウルポール改修	R7-R10	-	○	○	○	○	-	-	トイレ	
美郷町	カヌー	SP	全種別	カヌーパークみさとカヌーレIMAI (美郷町江の川カヌースプリント競技場)	コース長500m以上 9レーン			-	-	町	新設	・整地、建設工事	R4-R6	○	-	-	-	-	-	-	クラブハウス：更衣室・シャワー室・ロッカー（男女）、トイレ（男女）、多目的トイレ、救護室、授乳室、研修室、ウォーミングアップルーム、エレベーター	
		SL	成年男子	江の川特設コース	SL：コース長500m WW：コース長1500m			-	-	町	仮設	・基本設計 ・実施設計 ・コース、会場設営	R8-R12	-	-	○	○	○	○	○	トイレ、多目的トイレ、救護室、更衣室、放送室等	
		WW	成年女子																			
邑南町	軟式野球	成年男子	いわみスタジアム	鉄筋コンクリート造	中堅：122両翼：98		1	内野1000 外野700	210	町	改修	・フェンス改修 ・フィールド修繕 ・支障木伐採	R7-R9	-	○	○	○	-	-	-	-	
			瑞穂球場	鉄筋コンクリート造	中堅：120両翼：90		1	内野700 外野360	455	町	改修	・フェンス改修 ・スコアボード改修 ・支障木伐採	R7-R10	-	○	○	-	○	-	-	-	

第84回国民スポーツ大会・競技会場施設の整備状況一覧表

会場地 市町村	競技名・種目	種別	競技施設名	施設の概要						整備 主体	整備 区分	主な整備内容	整備 年度	(整備年次計画)								付帯施設等
				構造・ 表層	縦 (m)	横 (m)	面数等	照度 (lx)	観客席数 (固定席)					R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12		
津和野町	スポーツクラ イミング	全種別	日原特定公園（日 原カントリーパー ク）	ボルダーウォール 1面 リードウォール 1面				-	-	町	新設	・ボルダー施設建設 ・ボルダー用ウォー ムアップボード設置 ・リード施設建設 ・リード用ウォーム アップボード設置 ・屋外トイレ新設 ・多目的体育館空調 設備整備	R7-R12	-	○	○	○	○	○	○	-	
吉賀町	サッカー	成年女子 少年男子 少年女子	吉賀町真田グラウ ンド	人工芝	105	68	1	200	40	町	改修	・人工芝張替 ・アップスペース整 備	R8-R11	-	-	○	○	○	○	-	管理棟、交流研修セ ンター	
海士町	トライアスロ ン (合同開催)	成年男子 成年女子	西ノ島町内特設 コース	スイム1.5km バイク40.0km ラン10.0km						島前3 町村	仮設	・コース設置	R8- R9,R11- R12	-	-	○	○	-	○	○	中央公民館	
西ノ島町																						
知夫村																						
隠岐の島 町	相撲	成年男子 少年男子	隠岐の島町総合体 育館	RC造	37.5	45	1	-	620	町	仮設	・土俵 ・吊り天井 ・モニター ・得点表等 ・選手控え所 ・各種看板設置	R11-R12	-	-	-	-	-	○	○	会議室・更衣室・ シャワー室・トレ ーニング室・幼児室	
鳥取県 境港市	セーリング	全種別	境港公共マリーナ	A海面：縦2,000m 横2,000m B海面：縦1,500m 横1,500m						鳥取県	既設	・検討中		-	-	-	-	-	-	-	管理棟、艇庫、多目 的施設、艇置場	
鳥取県 米子市	ハンドボール	全種別	米子市新体育館 （仮称）メインア リーナ	鉄骨造	63	44	2	1,200		鳥取県 米子市	既設			-	-	-	-	-	-	-	-	
		全種別	米子市新体育館 （仮称）サブア リーナ	鉄骨造	44.2	39.5	1	1,200		鳥取県 米子市	既設			-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県 岡山市	クレ射撃	成年	岡山県クレ射撃 場	トラップ2面 スキート2面				-	-	岡山県	既設			-	-	-	-	-	-	-	管理棟	
広島県 東広島市	ボウリング	全種別	賀茂ボール	公認レーン：32レーン 縦65.1m 横32.5m						民間	既設			-	-	-	-	-	-	-	ホテルKAMO、ホット カモ	

第 8 4 回国民スポーツ大会・第 2 9 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会事務局

(島根県島根かみあり国スポ・全スポ局内)

〒690-0876

島根県松江市黒田町 488-2 番地

TEL:0852-67-4134

FAX:0852-67-4147

E-mail: kokumin-sports@pref.shimane.lg.jp